

工 事 設 計 書

所 属 部 課 名		建設部 下水道整備課							
部長	審議監	課長	補佐	補佐	班	班	班	設計者	設計審査
工 事 名 称		松戸第4処理分区污水枝線布設替工事（R8-1工区）							
工 事 場 所		松戸市 松戸 地先							
事 業 年 度		令和 8 年度							
工 事 価 格		円							
工 事 費 計		円							

設 計 概 要	路線延長	70.25m
	φ 200mm開削工(塩ビ管)	70.25m
	φ 200mm撤去工(ヒューム管)	26.84m
	φ 250mm撤去工(ヒューム管)	46.14m
	組立1号マンホール設置工	3基
	組立1号マンホール撤去工	3基
	取付管布設替工	3箇所
	附帯工	1式

単価適用日 2026年9月1日

本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
	管路施設工							
		本管布設替工						
			本管布設替工	式	1			第 1 号内訳書参照
			本管土工	式	1			第 2 号内訳書参照
			本管土留工	式	1			第 3 号内訳書参照
		マンホール布設替工						
			組立1号マンホール布設替工	式	1			第 4 号内訳書参照
		取付管布設替工						
			取付管布設替工	式	1			第 5 号内訳書参照
			取付管土工	式	1			第 6 号内訳書参照
		附帯工						

本 工 事 内 訳 書

2 頁

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
			附帯工	式	1			第 7 号内訳書参照
			舗装復旧工	式	1			第 8 号内訳書参照
			仮設工	式	1			第 9 号内訳書参照
	直接工事費計							
		運搬費		式	1			第 10 号内訳書参照
		共通仮設費		式	1			
		共通仮設費計						
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
	工事原価							
		一般管理費		式	1			

本 工 事 内 訳 書

3 頁

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
	工事価格							
		消費税及び地方消費税 相当額		式	1			
工事費計								

第 1 号内訳書 本管布設替工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
硬質塩化ビニル管設置工	呼び径200mm 夜間	m	67.6			第 1 号単価表参照
鉄筋コンクリート管撤去工	呼び径200mm 夜間	m	25.9			第 2 号単価表参照
鉄筋コンクリート管撤去工	呼び径250mm 夜間	m	44.3			第 3 号単価表参照
鉄筋コンクリート運搬処分工	10tDT運搬処分（処分費込み） 夜間	m ³	2			第 4 号単価表参照
計						

第 2 号内訳書 本管土工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械掘削工	BH0.28 夜間	m3	138			第 5 号単価表参照
砂基礎設置工（機械施工）	改良土 夜間	m3	32			第 6 号単価表参照
機械投入埋戻工（バックホウ）	改良土 夜間	m3	108			第 7 号単価表参照
発生土運搬工	BH0.28積込、4tDT運搬 夜間	m3	140			第 8 号単価表参照
計						

第 3 号 内訳書 本管土留工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深2.0m以下 BH0.28 夜間	m	116.4			第 9 号単価表参照
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深2.0m以下 トラッククレーン4.9t吊 夜間	m	116.4			第 10 号単価表参照
土留支保工(軽量金属支保工)	2.0m以下 夜間	m	116.4			第 11 号単価表参照
仮設鋼材損料	矢板・軽量金属支保材	式	1			
計						

第 4 号 内訳書 組立1号マンホール布設替工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
マンホール鉄蓋（浮上・飛散防止型）	径600mm T-25 ダクタイル鋳鉄製	組	3			
組立1号マンホール	内径900mm、H=1.7m	基	3			
底部工（開削部）	1号マンホール 夜間	箇所	3			第 12 号単価表参照
組立マンホール設置工	1号 3m以下 夜間	箇所	3			第 13 号単価表参照
マンホール削孔費	0・1号用 塩ビ管 200mm	箇所	3			
マンホール削孔費	0・1号用 ヒューム管 200mm	箇所	1			
無収縮モルタル	調整高 4cm	箇所	3			
既設1号マンホール撤去工		箇所	3			第 14 号単価表参照
インバート打換え工		箇所	1			第 15 号単価表参照
鉄筋コンクリート運搬処分工	10tDT運搬処分（処分費込み） 夜間	m3	2			第 16 号単価表参照
計						

第 5 号 内訳書 取付管布設替工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
取付管布設および支管取付工	φ 150mm塩ビ管 塩ビ管5m以上12m未満 夜間	箇所	3			第 17 号単価表参照
計						

第 6 号 内訳書 取付管土工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械掘削工	BH0. 28 夜間	m3	6			第 5 号単価表参照
発生土運搬工	4tDT運搬 夜間	m3	5			第 18 号単価表参照
機械投入埋戻工 (ハックホ)	改良土 夜間	m3	5			第 7 号単価表参照
計						

第 7 号 内訳書 附帯工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	アスファルト舗装 15cm以下 夜間	m	272			第 19 号単価表参照
汚泥及び廃アルカリ運搬処分工	容器入り 処分費込み 夜間	m3	0.4			第 20 号単価表参照
舗装版破碎積込	アスファルト舗装 15cm以下 夜間	m2	150			第 21 号単価表参照
As廃材運搬処分工	10tDT運搬処分 処分費込み 夜間	m3	15			第 22 号単価表参照
路盤掘削工	BH0.28 夜間	m3	72			第 23 号単価表参照
路盤廃材運搬処分工	4tDT運搬処分 処分費込み 夜間	m3	72			第 24 号単価表参照
路盤工及び舗装工 県道C (N6)	仮仮復旧 表層(再生密粒度As t=50) 路盤(上層RM-40 t=250・下層RC-40 t=600)	m2	82			第 25 号単価表参照
路盤工及び舗装工 (県道歩道)	表層(再生密粒度As t=40) 路盤(下層RC-40 t=100)・フィルター層(砂 t=50)	m2	40			第 26 号単価表参照
路盤工及び舗装工 (民地部)	表層(再生密粒度As t=40) 路盤(下層RC-40 t=100)・フィルター層(砂 t=50)	m2	28			第 27 号単価表参照
既設管閉塞工	φ 250 夜間	式	1			第 28 号単価表参照
潜水ポンプ運転工	夜間	日				第 29 号単価表参照

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
計						

第 8 号 内訳書 舗装復旧工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	アスファルト舗装 15cm以下 夜間	m	87			第 19 号単価表参照
汚泥及び廃アルカリ運搬処分工	容器入り 処分費込み 夜間	m3	0.2			第 20 号単価表参照
舗装版破碎積込	アスファルト舗装 15cm以下 夜間	m2	155			第 21 号単価表参照
切削オーバーレイ	夜間	m2	266			第 30 号単価表参照
As廃材運搬処分工	10tDT運搬処分 処分費込み 夜間	m3	7			第 22 号単価表参照
As廃材運搬処分工（切削オーバーレイ）	10tDT運搬処分 処分費込み 夜間	m3	13			第 31 号単価表参照
不陸整正(県道歩道)	夜間	m2	40			第 32 号単価表参照
路盤掘削工	BH0.28 夜間	m3	8			第 23 号単価表参照
路盤廃材運搬処分工	4tDT運搬処分 処分費込み 夜間	m3	8			第 24 号単価表参照
舗装工（県道C（N6））	仮復旧 表層(再生密粒度As t=50) 中間層・基層(再生粗粒度As t=50)	m2	82			第 33 号単価表参照
舗装工(県道歩道)	表層(開粒度As t=40)	m2	73			第 34 号単価表参照

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線工		式	1			第 35 号単価表参照
計						

第 9 号 内訳書 仮設工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 A	夜間	人日	23			第 36 号単価表参照
交通誘導警備員 B	夜間	人日	49			第 37 号単価表参照
計						

第 10 号 内訳書 運搬費

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設材等の運搬	(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) 往路	t	1.288			第 38 号単価表参照
仮設材等の運搬	(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) 復路	t	1.288			第 39 号単価表参照
仮設材等の積込み取卸し費	往復分	t	1.288			第 40 号単価表参照
貨物自動車による運搬 (1車1回)	路面切削機	台	2			第 41 号単価表参照
計						

第 1 号 単価表

硬質塩化ビニル管設置工

呼び径200mm
夜間

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
硬質塩化ビニル管設置工(材工共)	呼び径200mm	m	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 m 当り					

SDGD60010

J01 規格・仕様 = 2 呼び径 200mm
J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 有

J02 施工規模 = 1 20m以上
J04 夜間作業補正 = 1 有

第 2 号 単価表

鉄筋コンクリート管撤去工

呼び径200mm
夜間

10 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
バックホウ クレーン付1.7t(2次)	山積0.28m3 平積0.2m3	日				第 42 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	10 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10950

J01 呼び径 = 3

呼び径200mm

第 3 号 単価表

鉄筋コンクリート管撤去工

呼び径250mm
夜間

10 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
バックホウ クレーン付1.7t(2次)	山積0.28m3 平積0.2m3	日				第 42 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	10 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10950

J01 呼び径 = 4

呼び径250mm

第 4 号 単価表

鉄筋コンクリート運搬処分工

10tDT運搬処分（処分費込み）
夜間

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬		m3	1			第 43 号単価表参照
有筋 2 次処分費	東葛飾	t	2.5			
計	1 m3 当り					

第 5 号 単価表

機械掘削工

BH0.28
夜間

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
バックホウ排対(2次)	山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				第 44 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

SDGD10030

J01 バックホウ規格 = 1

排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)

第 6 号 単価表

砂基礎設置工（機械施工）

改良土
夜間

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
砂基礎設置工（機械施工）	（市場単価）	m3	1			第 45 号単価表参照
建設発生土土質改良土（CBR 6 %以上）	石灰系改良（流山）	m3	1.2			
計	1 m3 当り					

第 7 号 単価表

機械投入埋戻工 (ハックホ)

改良土
夜間

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械投入埋戻工 (ハックホ)		m3	100			第 46 号単価表参照
建設発生土土質改良土 (CBR 6 %以上)	石灰系改良 (流山)	m3	120			
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

第 8 号 単価表

発生土運搬工

BH0.28積込、4tDT運搬
夜間

10 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック	4t積級	日				第 47 号単価表参照
計	10 m3 当り					
	1 m3 当り					

SDGD10160

J01 ダンプトラック規格 = 1
J03 DID区間 = 2
J05 タイヤ損耗費 = 2

ダンプトラック 4t積級
DID区間あり
良好

J02 運搬距離（実数入力）[km] = 10.3

J04 バックホウ規格 = 3 排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)

第 9 号 単価表

アルミ矢板建込工(両側分)

掘削深2.0m以下 BH0.28
夜間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホ排対(2次)	山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				第 44 号単価表参照
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10360

J01 掘削深 = 2

掘削深2.0m以下

J02 バックホ規格 = 3

排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)

第 10 号 単価表

アルミ矢板引抜工(両側分)

掘削深2.0m以下 トラッククレーン4.9t吊
夜間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4.9 t 吊	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10370

J01 掘削深 = 2

J03 トラッククレーン賃料補正 = 1

掘削深2.0m以下
標準 (1.0)

J02 使用機種 = 1

トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型4.9t吊

第 11 号 単価表

土留支保工(軽量金属支保工)

2.0m以下
夜間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10400

J01 作業区分 = 3
J03 切梁材区分 = 1

設置撤去
切梁材 水圧式ハイポポート

J02 設置段数・掘削深 = 1

1段 2.0m以下

第 12 号 単価表

底部工(開削部)

1号マンホール
夜間

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
碎石基礎工	機械投入埋戻工	m2	0.95			第 48 号単価表参照
インバートコンリート工	18-8-25 (高炉)	m3	0.16			第 49 号単価表参照
モルタル上塗工	マンホール用 配合比1 : 2	m2	0.74			第 50 号単価表参照
計	1 箇所 当り					

第 13 号 単価表

組立マンホール設置工

1号 3m以下
夜間

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
組立マンホール設置工	1号(900mm) 3m以下	箇所	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 箇所 当り					

SDGD60070

J01 規格・仕様 = 4 1号(900mm) 3m以下
J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 2 無

J02 施工規模 = 2
J04 夜間作業補正 = 1 4箇所未満有

第 14 号 単価表

既設1号マンホール撤去工

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし		m3	0.62			第 51 号単価表参照
計	1 箇所 当り					

SDGD10980

J01 構造物区分 = 2
 J03 時間的制約の有無 = 2
 J05 低騒音・低振動対策 = 2

鉄筋構造物
 有り
 不要

J02 工法区分 = 1
 J04 夜間作業の有無 = 2

機械施工
 有り

第 15 号 単価表

インバート打換え工

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
インバートコンクリート工	18-8-25(高炉)	m3	0.08			第 52 号単価表参照
モルタル上塗り工	マンホール用	m2	0.37			第 53 号単価表参照
インバート取壊し工		m3	0.08			第 54 号単価表参照
計	1 箇所 当り					

第 16 号 単価表

鉄筋コンクリート運搬処分工

10tDT運搬処分（処分費込み）
夜間

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬		m3	1			第 43 号単価表参照
鉄筋ＣＯ処分費	東葛飾	t	2.5			
計	1 m3 当り					

第 17 号 単価表

取付管布設および支管取付工

φ 150mm塩ビ管 塩ビ管5m以上12m未満
夜間

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
取付管布設及び支管取付工(材 工共)	管径150	箇所	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 箇所 当り					

SDGD60100

J01 規格・仕様 = 3 管径 150mm
 J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 2 無
 J05 取付管長3m未満の場合の補正 = 2 無
 J07 本管材質コンクリート製・陶製の補正 = 2 無

J02 施工規模 = 2 5箇所未満
 J04 夜間作業補正 = 1 有
 J06 取付管長5m以上12m未満の補正 = 1 有

※施工パッケージ単価

第 18 号 単価表

発生土運搬工

4tDT運搬
夜間

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110
J01 土砂等発生現場 = 2
J03 土質 = 1
J14 運搬距離 (km) (DID区間有) = 11 12. 0km以下

小規模
土砂 (岩塊・玉石混り土含む)

J02 積込機種・規格 = 5
J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ山積0. 28m3 (平積0. 2m3)
有り

第 19 号 単価表

舗装版切断

アスファルト舗装 15cm以下
夜間

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリートカッタ〔バキューム式 (超低騒音型)〕	湿式 切削深20cm級 フレード 径φ56cm	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
コンクリートカッタ (ブレード)	径18インチ	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			
	1 m 当り					

第 19 号

単価表

舗装版切断

アスファルト舗装 15cm以下
夜間

1 m 当り

2 頁

SCB430510

J01 舗装版種別 = 1

J05 費用の内訳 = 1

アスファルト舗装版
全ての費用

J02 アスファルト舗装版厚 = 1

15cm以下

第 20 号 単価表

汚泥及び廃アルカリ運搬処分工

容器入り 処分費込み
夜間

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運搬		m3	1			第 55 号単価表参照
汚泥及び廃アルカリ処分費		kg	1, 130			
計	1 m3 当り					

第 21 号 単価表

舗装版破碎積込

アスファルト舗装 15cm以下
夜間

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型〕	山積0. 4 5 m 3 （平積0. 3 5 m 3）	%	K1			
労務構成比		%	R			
土木一般世話役		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m2 当り					

SCB430310

J01 舗装版種別 = 1

J03 騒音振動対策 = 1

J06 積込作業の有無 = 1

アスファルト舗装版

不要

有り

J02 障害等の有無 = 1

J04 舗装版厚 = 1

J07 費用の内訳 = 1

無し

15cm以下

全ての費用

第 22 号 単価表

As廃材運搬処分工

10tDT運搬処分
処分費込み 夜間

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	10tDT運搬	m3	1			第 56 号単価表参照
A S 廃材処分費	東葛飾	t	2.35			
計	1 m3 当り					

※施工パッケージ単価

第 23 号 単価表

路盤掘削工

BH0.28
夜間

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	排ガス型（第2次） 山積0.28m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210100

J01 土質 = 1

J05 施工数量 = 7

土砂
小規模（標準）

J02 施工方法 = 5

上記以外（小規模）

第 24 号 単価表

路盤廃材運搬処分工

4tDT運搬処分

処分費込み 夜間

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	4tDT運搬処分	m3	1			第 57 号単価表参照
路盤廃材処分費	東葛飾	t	2.04			
計	1 m3 当り					

第 25 号 単価表

路盤工及び舗装工県道C (N6)

仮復旧 表層(再生密粒度As t=50)

路盤(上層RM-40 t=250・下層RC-40 t=600)

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤 (人力)	RC-40 t=600	m2	1			第 58 号単価表参照
上層路盤 (人力)	RM-40 t=250	m2	1			第 59 号単価表参照
表層	再生密粒度As t=50	m2	1			第 60 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 26 号 単価表

路盤工及び舗装工（県道歩道）

表層（再生密粒度As t=40）

路盤（下層RC-40 t=100）・フィルター層（砂 t=50）

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
フィルター層		m2	1			第 61 号単価表参照
路盤		m2	1			第 62 号単価表参照
表層	再生密粒度As t=40	m2	1			第 63 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 27 号 単価表

路盤工及び舗装工（民地部）

表層（再生密粒度As t=40）

路盤（下層RC-40 t=100）・フィルター層（砂 t=50）

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
フィルター層		m2	1			第 61 号単価表参照
路盤		m2	1			第 62 号単価表参照
表層（歩道部）		m2	1			第 64 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 28 号 単価表

既設管閉塞工

φ 250
夜間

1 式 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
型枠		m2	0.7			第 65 号単価表参照
コンクリート		m3	0.1			第 66 号単価表参照
溶接金網	径2.6×50×50	m2	0.3			
計	1 式 当り					

第 29 号 単価表

潜水ポンプ運転工

夜間

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
工事用水中モータポンプ [普通型]	潜水ポンプ 口径φ 5 0 mm 全揚程 1 0 m	日				
発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動 5kVA	日				第 67 号単価表参照
計	1 日 当り					

SDGD32390

J01 既設管径 (mm) = 2

管径 2 0 0 mm

J02 潜水ポンプ台数 (実数入力) [台] = 2

第 30 号 単価表

切削オーバーレイ

夜間

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
アスファルト合材	改質II型 再生密粒度アスコン 20	t	12.573			100*50/1000*2.35*1.07
アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用	L	43			
路面切削機運転		日				第 68 号単価表参照
路面清掃車運転		日				第 69 号単価表参照
アスファルトフィニッシャ運転		日				第 70 号単価表参照
ロードローラ運転		日				第 71 号単価表参照
タイヤローラ運転		日				第 72 号単価表参照
諸雑費 (率+まるめ)		式	1			

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

SWB430210

J01 平均切削深さ = 17cm以下

J03 すりつけの区分 = 1無

J06 アスファルト材料（一層目） = 35 各種

J10 瀝青材料種類（一層目） = 1タックコート

J02 即日舗設層数 = 1一層

J04 舗装厚（一層目）（実数入力）[mm] = 50

J08 締固め後密度（一層目）（実数入力）[t/m3] = 2.35

第 31 号 単価表

As廃材運搬処分工（切削オーバーレイ）

10tDT運搬処分
処分費込み 夜間

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬（路面切削）		m3	1			第 73 号単価表参照
A S 廃材処分費	東葛飾	t	2.35			
計	1 m3 当り					

第 32 号 単価表

不陸整正(県道歩道)

夜間

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
モータグレーダ [土工用]	排出ガス対策(2014年規制)フレッド幅3.1m	%	K1			
ロードローラ [マカダム]	運転質量10～12 t	%	K2			
タイヤローラ [普通型]	運転質量13～14 t	%	K3			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
普通作業員		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 32 号 単価表

不陸整正(県道歩道)

夜間

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
軽油		%	Z1			
	1 m2 当り					

SCB410010

J01 補足材料の有無 = 1

無し

J04 費用の内訳 = 1

全ての費用

第 33 号 単価表

舗装工（県道C（N6））

仮復旧 表層（再生密粒度As t=50）
中間層・基層（再生粗粒度As t=50）

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基層（車道・路肩部）	再生粗粒度As t=50	m2	1			第 74 号単価表参照
中間層（車道・路肩部）	再生粗粒度As t=50	m2	1			第 75 号単価表参照
表層（車道・路肩部）	再生密粒度As t=50	m2	1			第 76 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 34 号 単価表

舗装工(県道歩道)

表層(開粒度As t=40)

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量40～60kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
アスファルト混合物	開粒度アスコン（13）	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

第 34 号 単価表

舗装工(県道歩道)

表層(開粒度As t=40)

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
軽油		%	Z3			
	1 m2 当り					

SCB410660

J01 平均幅員 = 1

J04 材料 = 1

1. 4m未満
開粒度アスコン (13)

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下[mm] = 40

第 35 号 単価表

区画線工

1 式 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線設置	白 実線 15cm	m	66.7			第 77 号単価表参照
区画線設置	黄 実線 20cm	m	70.4			第 78 号単価表参照
区画線設置	ミストグリップ相当品 W=30cm、緑	m	21			
計	1 式 当り					

第 36 号 単価表

交通誘導警備員 A

夜間

1 人日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 A		人				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 人日 当り					

SWB010211

第 37 号 単価表

交通誘導警備員 B

夜間

1 人日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B		人				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 人日 当り					

SWB010212

第 38 号 単価表

仮設材等の運搬

(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)
往路

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分 A	製品長12m以内 10kmまで	t	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 t 当り					

SWB010020

J01 発注機関区分 = 1 関東・中部・近畿
 J04 製品長区分 = 1 12m以内
 J06 運搬割増率 (実数入力) = 0

J02 片道運搬距離 (実数入力) [km] = 10
 J05 運搬割増率 = 4 各種 (実数入力)
 J07 その他の諸料金の有無 = 2 無

第 39 号 単価表

仮設材等の運搬

(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)
復路

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分 A	製品長12m以内 10kmまで	t	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 t 当り					

SWB010020

J01 発注機関区分 = 1 関東・中部・近畿
 J04 製品長区分 = 1 12m以内
 J06 運搬割増率 (実数入力) = 0

J02 片道運搬距離 (実数入力) [km] = 10
 J05 運搬割増率 = 4 各種 (実数入力)
 J07 その他の諸料金の有無 = 2 無

第 40 号 単価表

仮設材等の積み取り費

往復分

1 t 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
積み、取り費（仮設材等）		t	2			
計	1 t 当り					

SWB010030

J01 作業区分 = 4

積み、取り（往復分）

第 41 号 単価表

貨物自動車による運搬（1車1回）

路面切削機

1 台 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
貨物自動車基本運賃	20t車以上30t車まで 20kmまで	台	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 台 当り					

SWB010010

J01 運搬区分 = 1

J03 その他の諸料金の有無 = 2

路面切削機（ホイール廃材積込付）2.0m
無

J02 片道運搬距離（実数入力）[km] = 10

J05 運搬中の賃料(損料)の有無 = 2 無

第 42 号 単価表

バックホウ クレーン付1.7t(2次)

山積0.28m3 平積0.2m3

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人				
軽油		L	34			
バックホウ(クローラ) [標準・クレーン機能付き]	山積0.28m3(平積0.2m3)1.7t吊	日				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 日 当り					

SDGD10955

第 43 号 単価表

殻運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB227010

J01 殻発生作業 = 2
J03 DID区間の有無 = 2
J13 費用の内訳 = 1

コンクリート(鉄筋) 構造物とりこわし
有り
全ての費用

J02 積込工法区分 = 1
J04 運搬距離 (km) (DID区間有無) = 6 14.4km以下

機械積込

第 44 号 単価表

バックホウ排対(2次)

山積0.28m3(平積0.2m3)

1 時間 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人				
軽油		L	5.9			
バックホウ (クローラ) [標準]	排ガス型 (第2次) 山積0.28m3	時間				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 時間 当り					

SDGD10032

第 45 号 単価表

砂基礎設置工(機械施工)

(市場単価)

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
砂基礎工(手間のみ)	砂基礎設置 機械施工	m3	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 m3 当り					

SDGD60040

J01 施工規模 = 1

10m3以上

J02 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 有

J03 夜間作業補正 = 1

有

第 46 号 単価表

機械投入埋戻工 (ﾊﾞｯｸﾌｻ)

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
ﾊﾞｯｸﾌｻ排対 (2次)	山積0.28m3 (平積0.2m3)	時間				第 44 号単価表参照
タンパ締固め		m3	100			第 79 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

SDGD10130
J01 ﾊﾞｯｸﾌｻ規格 = 1
排対 (2次) 山積0.28m3 (平0.2m3)
J02 タンパ締固め数量 (m3) (実数) [m3/100m3] = 100

第 47 号 単価表

ダンプトラック

4t積級

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				
軽油		L	32			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級	供用日	1. 29			
タイヤ損耗費	4 t 積級 良好 供用日	供用日	1. 29			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 日 当り					

SDGD10180

J01 機械損耗部品補正 = 2

良好

第 48 号 単価表

砕石基礎工

機械投入埋戻工

100 m2 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	m3	24			
諸雑費		式	1			
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

SDGD10700

J01 バックホウ規格区分 = 2

BH(1次) 山積0.28m3(平積0.20m3)

J02 砕石の厚さ(m) (実数入力) [m] = 0.2

第 49 号 単価表

インバートコンリート工

18-8-25 (高炉)

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ(クローラ) [標準・クレーン機能付き]	山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
運転手 (特殊)		%	R4			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	18-8-25 (20) 高炉 W/C60%以下	%	Z1			
軽油		%	Z2			

第 49 号 単価表

インバートコンリート工

18-8-25 (高炉)

1 m3 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 m3 当り					

SCB240010

J01 構造物種別 = 2

J03 コンクリート規格 = 41

J13 費用の内訳 = 1

小型構造物

18-8-25 (高炉)

全ての費用

J02 打設工法 = 3

J05 養生工の種類 = 2

バックホウ (クレーン機能付) 打設

一般養生

第 50 号 単価表

モルタル上塗り

マンホール用
配合比1 : 2

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
左官		人				
普通作業員		人				
モルタル練		m3	0.02			1*(20/1000) 第 80 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 m2 当り					

SDGD10740

J01 配合比 = 3
J03 セメント種類 = 2

配合比 1 : 3
高炉

J02 モルタル厚さ(10～30mm) (実数入力) [mm] = 20

第 51 号 単価表

構造物とりこわし

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋構造物	夜間 機械施工 制約受ける	m3	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 m3 当り					

SWB824010

J01 構造物区分 = 2

鉄筋構造物

J03 時間的制約の有無 = 2

有り

J05 低騒音・低振動対策 = 2

不要

J02 工法区分 = 1

J04 夜間作業の有無 = 2

機械施工

有り

第 52 号 単価表

インバートコンクリート工

18-8-25(高炉)

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	1 8 - 8 - 2 5 (2 0) 高炉 W/C60%以下	%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB240010

J01 構造物種別 = 1
J03 コンクリート規格 = 41
J07 現場内小運搬の有無 = 2

無筋・鉄筋構造物
18-8-25 (高炉)
無し

J02 打設工法 = 4
J05 養生工の種類 = 1
J13 費用の内訳 = 1

人力打設
養生無し
全ての費用

第 53 号 単価表

モルタル上塗り

マンホール用

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
左官		人				
普通作業員		人				
モルタル練工	配合比 1 : 2	m3	0.02			1*(20/1000)
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 m2 当り					

SDGD10740

J01 配合比 = 2
J03 セメント種類 = 2

配合比 1 : 2
高炉

J02 モルタル厚さ(10～30mm) (実数入力) [mm] = 20

第 54 号 単価表

インバート取壊し工

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
無筋構造物	夜間 人力施工 制約受ける	m3	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 m3 当り					

SWB824010

J01 構造物区分 = 1

無筋構造物

J02 工法区分 = 2

人力施工

J03 時間的制約の有無 = 2

有り

J04 夜間作業の有無 = 2

有り

※施工パッケージ単価

第 55 号 単価表

運搬

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 3 現場制約あり
J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J18 運搬距離 (km) (DID区間有) = 13 23.0km以下

J02 積込機種・規格 = 7 人力
J04 DID区間の有無 = 2 有り

第 56 号 単価表

殻運搬

10tDT運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	1 0 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB227010

J01 殻発生作業 = 3

J03 DID区間の有無 = 2

J13 費用の内訳 = 1

舗装版破碎

有り

全ての費用

J02 積込工法区分 = 3

J08 運搬距離 (km) (DID区間有) = 6 19.5km以下

機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)

第 57 号 単価表

土砂等運搬

4tDT運搬処分

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2 小規模

J02 積込機種・規格 = 5

J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)

J04 DID区間の有無 = 2

J14 運搬距離 (km) (DID区間有) = 12 17.0km以下

バックホウ山積0.28m3 (平積0.2m3) 有り

第 58 号 単価表

下層路盤（人力）

RC-40 t=600

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型)〔後方超小 旋回型〕	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m3	%	K1			
振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コン パインド式〕	運転質量3～4 t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生クラッシャーラン	RC-40	%	Z1			

第 58 号 単価表

下層路盤（人力）

RC-40 t=600

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410031

J01 全仕上り厚（実数入力）[mm] = 600

J02 施工区分 = 3

J03 材料 = 6

再生クラッシュラン RC-40

J04 費用の内訳 = 1

3層施工
全ての費用

第 59 号 単価表

上層路盤（人力）

RM-40 t=250

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型)〔後方超小 旋回型〕	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m3	%	K1			
振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コン パインド式〕	運転質量3～4 t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生粒度調整碎石	RM-40	%	Z1			

第 59 号 単価表

上層路盤（人力）

RM-40 t=250

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410041

J01 全仕上り厚（実数入力）[mm] = 250

J02 施工区分 = 2

J03 材料 = 3

再生粒度調整碎石 RM-40

J04 費用の内訳 = 1

2層施工
全ての費用

第 60 号 単価表

表層

再生密粒度As t=50

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量40～60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（13）	%	Z1			
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	%	Z2			

第 60 号 単価表

表層

再生密粒度As t=50

1 m2 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m2 当り					

SCB410261

J01 平均幅員 = 1

J05 材料 = 11

J07 費用の内訳 = 1

1. 4m未満（仕上厚50mm以下）

再生密粒度アスコン（1 3）

全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下[mm] = 50

J06 瀝青材料種類 = 2

プライムコート PK-3

第 61 号 単価表

フィルター層

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔後方超小旋回型〕	山積 0. 2 8 m 3 （平積 0. 2 m 3 ）	%	K1			
振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式〕	運転質量 3 ～ 4 t	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
砂（フィルター材）	透水性舗装用（シルト分 6 % 以下）	%	Z1			

第 61 号 単価表

フィルター層

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410650

J01 平均厚さ = 1

40mm以上60mm未満

第 62 号 単価表

路盤

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型)〔後方超小 旋回型〕	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m3	%	K1			
振動ローラ (舗装用) 〔搭乗・コ ンバインド式〕	運転質量 3 ～ 4 t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	%	Z1			

第 62 号 単価表

路盤

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410031

J01 全仕上り厚（実数入力）[mm] = 100

J02 施工区分 = 1

J03 材料 = 6

再生クラッシュラン RC-40

J04 費用の内訳 = 1

1層施工
全ての費用

第 63 号 単価表

表層

再生密粒度As t=40

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量40～60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（13）	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

第 63 号 単価表

表層

再生密粒度As t=40

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
軽油		%	Z3			
	1 m2 当り					

SCB410261

J01 平均幅員 = 1

J05 材料 = 11

J07 費用の内訳 = 1

1. 4m未満（仕上厚50mm以下）

再生密粒度アスコン（1 3）

全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下[mm] = 40

J06 瀝青材料種類 = 5

無し

第 64 号 単価表

表層（歩道部）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量 0.5 ～ 0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量 40 ～ 60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（13）	%	Z1			
アスファルト乳剤	P K - 3 プライムコート用	%	Z2			

第 64 号 単価表

表層 (歩道部)

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m2 当り					

SCB410261

J01 平均幅員 = 1

J05 材料 = 11

J07 費用の内訳 = 1

1. 4m未満 (仕上厚50mm以下)

再生密粒度アスコン (1 3)

全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下 [mm] = 40

J06 瀝青材料種類 = 2

プライムコート PK-3

第 65 号 単価表

型枠

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
型わく工		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
	1 m2 当り					

SCB240210

J01 型枠の種類 = 1

一般型枠

J02 構造物の種類 = 2

小型構造物

第 66 号 単価表

コンクリート

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	18-8-25 (20) 高炉 W/C60%以下	%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB240010

J01 構造物種別 = 2 小型構造物
 J03 コンクリート規格 = 41 18-8-25 (高炉)
 J07 現場内小運搬の有無 = 2 無し

J02 打設工法 = 4 人力打設
 J05 養生工の種類 = 1 養生無し
 J13 費用の内訳 = 1 全ての費用

第 67 号 単価表

発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 5kVA

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
軽油		L	4.2			
発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動]	5 k V A	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 日 当り					

SDGD32400

第 68 号 単価表

路面切削機運転

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人				
軽油		L	215			
路面切削機〔ホイール式・廃材積込装置付〕	排ガス型(第3次) 切削幅2.0m 深さ23cm	供用日	1.28			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 日 当り					

SWK430050

J01 平均切削深さ = 1

7cm以下

J02 即日舗設の層数 = 1

一層

第 69 号 単価表

路面清掃車運転

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				
軽油		L	39			
路面清掃車[ブラシ・四輪式・路面 切削工事用]	ホッパ容量 1. 5 m ³	供用日	1. 15			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 日 当り					

SWK430060

J01 平均切削深さ = 1

7cm以下

J02 即日舗設の層数 = 1

一層

第 70 号 単価表

アスファルトフィニッシャ運転

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人				
軽油		L	59			
アスファルトフィニッシャ〔 ホイール型〕	排ガス対策2014年規制 舗装幅2.3~6.0m	供用日	1.28			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 日 当り					

SWK430070

J01 平均切削深さ = 1

7cm以下

J02 即日舗設の層数 = 1

一層

第 71 号 単価表

ロードローラ運転

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人				
軽油		L	29			
ロードローラ[マカダム・排ガス型 2014年規制]	運転質量 10 t 締固め幅 2.1 m	供用日	1.28			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 日 当り					

SWK430080

J01 平均切削深さ = 1

7cm以下

J02 即日舗設の層数 = 1

一層

第 72 号 単価表

タイヤローラ運転

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人				
軽油		L	22			
タイヤローラ〔普通型・排ガス対策2014年規制〕	運転質量 1 3 ～ 1 4 t	供用日	1. 28			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 日 当り					

SWK430090

J01 平均切削深さ = 1

7cm以下

J02 即日舗設の層数 = 1

一層

第 73 号 単価表

殻運搬（路面切削）

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	1 0 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（一般）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB430020

J01 DID区間の有無 = 2
J04 費用の内訳 = 1

有り
全ての費用

J03 運搬距離（km）（DID区間有） = 20 14.5km以下

第 74 号 単価表

基層（車道・路肩部）

再生粗粒度As t=50

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量40～60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生粗粒度アスコン（20）	%	Z1			
アスファルト乳剤	P K－3 プライムコート用	%	Z2			

第 74 号 単価表

基層（車道・路肩部）

再生粗粒度As t=50

1 m2 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m2 当り					

SCB410240

J01 平均幅員 = 1

J05 材料 = 12

J07 費用の内訳 = 1

1. 4m未満（仕上厚50mm以下）

再生粗粒度アスコン（20）

全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下[mm] = 50

J06 瀝青材料種類 = 2

プライムコート PK-3

第 75 号 単価表

中間層（車道・路肩部）

再生粗粒度As t=50

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量40～60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生粗粒度アスコン（20）	%	Z1			
アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用	%	Z2			

第 75 号 単価表

中間層（車道・路肩部）

再生粗粒度As t=50

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m2 当り					

SCB410250

J01 平均幅員 = 1

J05 材料 = 12

J07 費用の内訳 = 1

1. 4m未満（仕上厚50mm以下）

再生粗粒度アスコン（20）

全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下[mm] = 50

J06 瀝青材料種類 = 1

タックコート PK-4

第 76 号 単価表

表層（車道・路肩部）

再生密粒度As t=50

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量40～60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（13）	%	Z1			
アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用	%	Z2			

第 76 号 単価表

表層（車道・路肩部）

再生密粒度As t=50

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m2 当り					

SCB410260

J01 平均幅員 = 1

J05 材料 = 11

J07 費用の内訳 = 1

1. 4m未満（仕上厚50mm以下）

再生密粒度アスコン（1 3）

全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下[mm] = 50

J06 瀝青材料種類 = 1

タックコート PK-4

第 77 号 単価表

区画線設置

白 実線 15cm

1000 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式） 夜間	豪雪無 実線15cm 制約受ける	m	1,000			
トラフィックペイント 溶融型	3種1号 ビーズ15～18 白	kg	570			
ガラスビーズ	0.106～0.850mm	kg	25			
接着用プライマー	区画線用	kg	25			
軽油		L	40			
諸雑費（率+まるめ）		式	1			
計	1000 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821210

J01 夜間作業の有無 = 2 有り
 J03 豪雪補正の有無 = 1 無し
 J05 時間的制約の有無 = 2 有り
 J07 排水性舗装に施工する場合の補正 = 1 無し
 J09 溶融式塗料規格 = 1 含有量15～18%
 J12 プライマー規格 = 1 アスファルト舗装

J02 施工方法区分 = 1 溶融式手動
 J04 規格・仕様区分 = 1 実線 15cm
 J06 塗布厚 = 1 1.5mm
 J08 未供用区間の場合の補正 = 1 無し
 J11 塗料区分 = 1 白
 J13 費用の内訳 = 1 全ての費用

第 78 号 単価表

区画線設置

黄 実線 20cm

1000 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式） 夜間	豪雪無 実線20cm 制約受ける	m	1,000			
トラフィックペイント 溶融型	3種1号 ビーズ15~18 黄 鉛・フリー	kg	760			
ガラスビーズ	0.106~0.850mm	kg	33			
接着用プライマー	区画線用	kg	33			
軽油		L	43			
諸雑費（率+まるめ）		式	1			
計	1000 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821210

J01 夜間作業の有無 = 2 有り
 J03 豪雪補正の有無 = 1 無し
 J05 時間的制約の有無 = 2 有り
 J07 排水性舗装に施工する場合の補正 = 1 無し
 J09 溶融式塗料規格 = 1 含有量15~18%
 J12 プライマー規格 = 1 アスファルト舗装

J02 施工方法区分 = 1
 J04 規格・仕様区分 = 2
 J06 塗布厚 = 1
 J08 未供用区間の場合の補正 = 1
 J11 塗料区分 = 2
 J13 費用の内訳 = 1

溶融式手動
 実線 20cm
 1.5mm
 無し
 黄 鉛・クロムフリー
 全ての費用

第 79 号 単価表

タンパ締固め

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
タンパ及びランマ	質量 60～80kg	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
ガソリン	レギュラー	%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210450
J01 費用の内訳 = 1

全ての費用

第 80 号 単価表

モルタル練

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
材料構成比		%	Z			
セメント（高炉B）	2 5 k g 袋入	%	Z1			
コンクリート用骨材 砂	洗い 細目	%	Z2			
	1 m3 当り					

SCB240060

J01 セメント種類 = 2

高炉

J02 費用の内訳 = 1

全ての費用

本管布設替工・マンホール布設替工・取付管布設替工・附帯工・舗装復旧工・仮設工・運搬費			
工 種	形 状 寸 法	単 位	合 計
本管布設替工			
1) 本管布設替工			
硬質塩化ビニル管設置工	呼び径200mm 夜間	m	67.6
鉄筋コンクリート管撤去工	呼び径200mm 夜間	m	25.9
鉄筋コンクリート管撤去工	呼び径250mm 夜間	m	44.3
鉄筋コンクリート運搬処分工	10tDT運搬処分(処分費込み) 夜間	m3	2
2) 本管土工			
機械掘削工	BH0.28 夜間	m3	138
砂基礎設置工(機械施工)	改良土 夜間	m3	32
機械投入埋戻工(バックホ)	改良土 夜間	m3	108
発生土運搬工	BH0.28積込 4tDT運搬 夜間	m3	140
3) 本管工留工			
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深2.0m以下 BH0.28 夜間	m	116.4
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深2.0m以下 トラックレン4.9t吊 夜間	m	116.4
土留支保工(軽量金属支保工)	2.0m以下 夜間	m	116.4
仮設鋼材損料	矢板・軽量金属支保材	式	1
マンホール布設替工			
4) 組立1号マンホール布設替工			
マンホール鉄蓋(浮上・飛散防止型)	径600mm T-25 タグタイル鋳鉄製	組	3
組立1号マンホール	内径900mm、H=1.7m	基	3
底部工(組立式)	1号マンホール 夜間	箇所	3
組立マンホール設置工	1号 3m以下 夜間	箇所	3
マンホール削孔費	1号用 塩ビ管 200mm	箇所	3
マンホール削孔費	1号用 ヒューム管 250mm	箇所	1
無収縮モルタル	調整高4cm	箇所	3
既設1号マンホール撤去工	内径900mm、H=1.7m	箇所	3
インバート打換え工		箇所	1
鉄筋コンクリート運搬処分工	10tDT運搬処分(処分費込み) 夜間	m3	2
取付管布設替工			
1) 組立1号マンホール布設替工			
取付管布設および支管取付工	φ150mm塩ビ管 塩ビ管5m以上12m未満 夜間	箇所	3
2) 取付管土工			
機械掘削工	BH0.28 夜間	m3	6
機械投入埋戻工(バックホ)	改良土 夜間	m3	5
発生土運搬工	4tDT運搬 夜間	m3	5
附帯工			
1) 附帯工			
舗装版切断	アスファルト舗装 15cm以下 夜間	m	272
汚泥及び廃アルカリ運搬処分工	容器入り 処分費込み 夜間	m3	0.4
舗装版破砕積込	アスファルト舗装 15cm以下 夜間	m2	150
As廃材運搬処分工	10tDT運搬処分 処分費込み 夜間	m3	15
路盤掘削工	BH0.28 夜間	m3	72
路盤廢材運搬処分工	4tDT運搬処分 処分費込み 夜間	m3	72
路盤工及び舗装工(県道C(N6))	仮復旧 表層(再生密粒度As t=50) 上層路盤t=250(RM-30)下層路盤t=600(RC-40)	m2	82
路盤工及び舗装工(県道歩道)	表層(再生密粒度As t=50) 下層路盤t=100(RC-40)下層土層t=50(砂)	m2	40
路盤工及び舗装工(民地部)	表層(再生密粒度As t=50) 下層路盤t=100(RC-40)下層土層t=50(砂)	m2	28
既設管閉塞工	φ250 夜間	式	1
潜水ポンプ運転工	夜間	日	1
2) 舗装復旧工			
舗装版切断	アスファルト舗装 15cm以下 夜間	m	87
汚泥及び廃アルカリ運搬処分工	容器入り 処分費込み 夜間	m3	0.2
舗装版破砕積込	アスファルト舗装 15cm以下 夜間	m2	155
切削オーバーレイ	夜間	m2	266
As廃材運搬処分工	10tDT運搬処分 処分費込み 夜間	m3	7
As廃材運搬処分工(切削オーバーレイ)	10tDT運搬処分 処分費込み 夜間	m3	13
不陸整正(県道歩道)	夜間	m2	40
路盤掘削工	BH0.28 夜間	m3	8
路盤廢材運搬処分工	4tDT運搬処分 処分費込み 夜間	m3	8
舗装工(県道C(N6))	仮復旧 表層(再生密粒度As t=50) 中間層・基層(再生粗粒度As t=50)	m2	82
舗装工(県道歩道)	表層(開粒度As t=40)	m2	73
区画線設置工		式	1
3) 仮設工			
交通誘導警備員A	夜間	人日	23
交通誘導警備員B	夜間	人日	49
運搬費			
仮設材等の運搬	片道分	t	1.288
仮設材等の運搬	片道分	t	1.288
仮設材の積込み取卸し費	往復分	t	1.288
貨物自動車による運搬(1車1回)	路面切削機	台	2

設計基本情報

項 目	内 容	備 考
単価世代	2026年9月1日	
諸経費の工種	下水道工事(2)	
施工地域補正	市街地(DID補正)(1)-3	
時間的制約状況(夜間)	制約を受ける	作業時間：7.5時間(1.59)但し、交通誘導員については、時間的制約を考慮しない。
週休2日補正	有り	月単位<現場閉所>
労務費	端数処理	労務費単価の端数処理は、小数点以下を切捨てし、1円単位とする。
その他		

一 式 当 た り 内 訳 書

[illegible]

契約条件明示及び特記仕様書

松戸第4処理分区污水枝線布設替工事（R8-1 工区）

一般事項

1－1 適用

本仕様書は、松戸市が発注する「松戸第4処理分区污水枝線布設替工事（R8-1工区）」に適用する。本仕様書および図面等の設計図書の定めのない事項については千葉県土木工事共通仕様書に準拠するものとする。

1－2 目的

本工事の目的は、より良い市民生活を目指す本市下水道整備事業に基づき、その計画を遂行する為に必要な施設を構築することにある。受注者は、その主旨をよく理解した上で施工にあたらなければならない。

1－3 施工計画書

1. 受注者は、工事着手前に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等についての施工計画書を監督職員に提出しなければならない。

受注者は、施工計画書を遵守し工事の施工に当たらなければならない。この場合、受注者は、施工計画書に次の事項について記載しなければならない。また、監督職員がその他の項目について補足を求めた場合には、追記するものとする。なお、計画においては、請負者の創意工夫をもって立案し、要求された品質・性能を満足する工事目的物を約束の期日までに発注者に引き渡せるように計画するものとし、設計内容を熟知した上で、疑義がある場合は予め監督職員と協議するものとする。

- （1）工事概要
- （2）計画工程表
- （3）現場組織表
- （4）指定機械
- （5）主要機械
- （6）主要資材
- （7）施工方法（主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む）
- （8）施工管理計画
- （9）安全管理
- （10）緊急時の体制及び対応
- （11）交通管理
- （12）環境対策

(13) 現場作業環境の整備

(14) 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法

(15) その他

2. 受注者は、施工計画書の内容に重要な変更が生じた場合には、その都度当該工事に着手する前に変更に関する事項について、変更施工計画書を監督職員に提出しなければならない。
3. 受注者は、施工計画書を提出した際、監督職員が指示した事項について、さらに詳細な施工計画書を提出しなければならない。
4. 本工事の仮設物については、図面等の設計図書に特別な定めがある場合を除き、受注者において任意に計画できるものとし、その詳細については施工計画書に明示しなければならない。

1－4 使用材料

受注者は、工事着手前に設計図書及び監督職員に指定された材料について監督職員に提出しなければならない。

1－5 施工管理

施工管理は、特に定めがある場合を除き、千葉県土木工事共通仕様書・施工管理基準に基づき行うものとする。

1－6 工事着手前の確認

1. 受注者は、工事着手前に現地を十分に踏査し、設計図書と現地が一致しているかを十分に確認し、その結果を監督職員に報告しなければならない。
2. 受注者は、工事着手に先立ち、関係機関との手続きは勿論、近隣住民等へ周知を徹底し、通行人を含め第三者とのトラブルを回避するよう努めなければならない。
3. 受注者は、工事の施工に当たり、損傷の受けるおそれのある境界杭または障害となる杭の設置換え、移設及び復元を含めて適切な措置を講じなければならない。
4. 既設の埋設物については、施工者においても十分調査し、要所においては必要により試験掘りを行い、企業者の立ち会いを求め確認し、書面にてその結果を監督職員に報告すること。また、このことにより設計内容に変更を伴うと思われるときは、速やかに監督職員と協議しなければならない。
5. 請負者においては万が一の影響を考慮し、工作物等の状況を原則所有者立ち会いまたは了解を得て写真により記録し、施工計画書と共に監督職員に提出するものとする。工事用地、資材及び重機置場として借地した土地の近接家屋についても同様とする。

1－7 その他

1. 施工管理に関しては、十分に工程を管理し定期的にフィードバックするとともに毎月1回下水道施工管理様式（下水道第4号様式）に基づき月間工程報告書を提出しなければならない。
2. 工事施工に伴って通常発生する物件等の毀損の補修費及び騒音、振動、濁水、交通等による事業損失に係る補償費は現場管理費に含むものとする。ただし、臨時にして巨額なものは除く。
3. 現場は常に整理整頓に心掛け、施工中は勿論、施工のしていないときにも危険のないようにしておかなければならない。
4. 受注者は工事（工事請負代金額が500万円以上（消費税を含む））の施工において、自ら立案実施した創意工夫や地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工計画書に明記して提出することができる。
5. 本工事施工に先立ち、下記のとおり移設工事等あり、企業者と連絡をとり立会い等行うこと。

5－1 地上支障物・地下埋設物の有無

管理者	支障物件	支障位置	対処方法	対処時期
東京電力	—	—	—	—
N T T	—	—	—	—
J C O M	—	—	—	—
京葉ガス(株)	—	—	—	—
千葉県企業局	—	—	—	—

5－2 企業者立会い等及び現地を確認して疑義が生じた場合は、速やかに監督職員と協議すること。

環境対策について

1. 受注者は、建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建設大臣官房技術審議官通達、昭和62年3月30日）、関連法令並びに仕様書の規定を遵守の上、騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等の問題については、施工計画及び工事の実施の各段階において十分に検討し、周辺地域の環境保全に努めなければならない。
2. 受注者は、環境への影響が予知されまたは発生した場合は、直ちに応急措置を講じ監督職員に報告し、監督職員の指示があればそれに従わなければならない。また、第三者からの環境問題に関する苦情に対しては、誠意をもってその対応にあたり、その交渉等の内容は、後日紛争とならないよう文書で確認する等明確にしておくとともに、状況を随時監督職員に報告し、指示があればそれに従うものとする。
3. 工事の使用機械は、低騒音型・低振動型及び排出ガス対策型機械を使用し、第三者に不快感を与えないよう努めること。また、工事施工に伴い、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合は、受注者においても事前に調査するなど適切な措置を講ずること。

交通安全管理について

1. 本工事は夜間作業(21:00～5:00)を原則とする。施工中の交通整理員は、1日3名以上の配置を原則とするが、工種や施工形態及び交通量等を考慮し、増員等をもって安全の確保に努めなければならない。また、休憩時間（昼休み等）においても同様とする。
2. 交通規制は、周辺工事との調整を図り適切に行わなければならない。規制においては、近隣住民や通過交通(通行人を含む)等への影響を最小限に留めるよう努めること。また、迂回路や迂回先についても常に把握し、周辺工事で通行止め等が行われている場合には、双方で協議して通過交通への説明ができるよう配慮を行うこと。
3. 施工においては、労働安全衛生法、道路交通法、騒音・振動規制法その他の関係法令を遵守しなければならない。
4. 本工事で使用する建設機械や資材等は、原則夜間・休日に道路上に放置してはならない。なお、その保管方法については施工計画書に明示しなければならない。
5. 集中豪雨に対する対策を具体的に、施工計画に明記すること。

建設副産物について

1. 共通事項

- (1) 受注者は、建設副産物対策を適切に実施するため、工事現場における責任者を明確にすること。また、責任者は、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画、廃棄物処理計画等の内容について現場担当者の教育を十分に行うとともに、下請負者にもこれを周知徹底すること。
- (2) 請負者は「**建設リサイクル推進計画 2020**」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。
- (3) 建設副産物の処理に先立ち、別紙「建設副産物処理承認申請書」により監督職員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。
- (4) 建設廃棄物の処分にあって、排出事業者（元請業者）は処分業者と建設廃棄物処理契約を締結し、建設廃棄物処理委託契約書（厚生省作成または建設八団体廃棄物対策連絡会作成様式）を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理契約を締結すること。
- (5) 建設副産物の処理完了後速やかに別紙「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に2部提出するとともに、実際に要した処分費（受入伝票、写真等）を証明する資料を監督職員に提示し、確認を受けること。
- (6) 建設廃棄物については、「建設廃棄物処理におけるマニフェストシステム（集荷目録制）」の実施に基づく、建設廃棄物マニフェストA票、B2票、D票、E票（複写式伝票）を監督職員に提示し、確認を受けるとともに、D票、E票の写しを提出すること。また、排出事業者はA、B2、D、E票を5年間保存する。
- (7) 発生した余剰材は、元請業者が、責任をもって処理することが基本であり、資材として再利用される場合以外は協力業者や資材納入業者に持ち帰らせてはならない。

2. 建設発生土

建設発生土は、柏市岩井 296-1 番地先、片道運搬距離 18.0 kmの㈱エスブロックに搬出するものとする。建設発生土の処分については、仮置きについて考慮するものとする。

3. 改良土

発生土の内、図面等の指示により改良土を埋戻し材として利用する場合は千葉県知事の許可を得た改良プラントに発生土を搬出し、改良土を得るものとする。発生土(145m³) は、流山市野々下 2-478-2 地先、仮置き場所から片道 10.3km の(株)大勝工業に搬出し処理するものとする。

4. 路盤廃材

本工事により発生する路盤廃材(80m³) は、柏市風早 1-5-1 地先、片道運搬距離 14.3 kmの東京石油興業(株)に運搬し、処理するものとする。

5. 建設廃棄物

本工事により発生する

- 1) アスファルト・コンクリート塊(35m³) は、柏市風早 1-5-1 地先、片道運搬距離 14.3 kmの東京石油興業(株)に運搬し、処理するものとする。
- 2) 鉄筋コンクリート塊(4m³) は、柏市風早 1-5-1 地先、片道運搬距離 14.3 kmの東京石油興業(株)に運搬し、処理するものとする。
- 3) 汚泥、廃アルカリ(0.6m³) は、八千代市吉橋字内野 1075-9 地先、片道運搬距離 21.0 kmの千葉丸辰道路(株)に運搬し、処理するものとする。

なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。工事発注後、上記の指定処理により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。片道運搬距離は積算上処理分区ごとに代表地点から算出した距離であり、実際の運搬距離と差異が生じた場合においては設計変更の対象としない。また、元請業者は次の事項に留意し建設廃棄物を運搬しなければならない。

- (1) 廃棄物処理法に規定する処理基準を遵守すること。
- (2) 運搬経路の適切な設定並びに車両及び積載量等の適切な管理により騒音、振動塵芥等の防止に努めるとともに、安全な運搬に必要な措置を講じること。
- (3) 運搬途中において積替えを行う場合は、関係者と打ち合わせを行い、環境保全に留意すること。
- (4) 混合廃棄物の積替保管に当たっては、手選別等により廃棄物の性状を変えないこと。

工事实績情報作成、登録（旧工事カルテ作成、登録）について

受注者は、受注時または変更時において工事請負代金額が 500 万円以上の工事について、工事实績情報サービス（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報を作成し監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に完成時は、工事完成後 10 日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

登録対象は、工事請負代金 500 万円以上の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。

なお、変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。

また、登録機関発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督職員に提示しなければならない。なお、変更時と完成時の間が 10 日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できるものとする。

週休 2 日制適用工事（現場閉所による週休 2 日工事）について

本工事は、週休 2 日制適用工事である。

受注者は、現場閉所による週休 2 日工事として取り組むこと。なお、予定価格には月単位の週休 2 日（4 週 8 休以上）達成相当の経費を補正している。

受注者が、工事着手前に完全週休 2 日（土日）の取組を希望し、かつ対象期間 内において完全週休 2 日（土日）相当を達成した場合は、経費に補正係数を乗 じ変更するものとする。

週休 2 日制の実施にあたっては、「松戸市建設工事週休 2 日制適用工事实施要 領」に基づき行うこと。

熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事について

熱中症対策に資する現場管理費の補正を試行する対象工事とする。受注者は、契約後速やかに、本試行の適用について、監督職員と協議すること。工事の実施にあたっては、「松戸市熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行要領」に基づき行うこと。

情報共有システムの活用について

本工事は、情報共有システムの対象工事である。ただし、活用による生産性向上が見込まれないなどと判断される場合は、受発注者間の協議により、実施の有無を決定することとする。実施にあたっては「松戸市土木工事情報共有システム試行要領」に基づくものとする。

品質証明について

1. 品質証明に従事する者（以下「品質証明員」という。）が工事施工途中において必要と認める時期及び検査（完成、出来形、中間検査をいう。以下同じ。）の事前に品質確認を行い、その結果を所定の様式により、検査時まで監督職員へ提出しなければならない。（別紙様式1、別紙様式3（独自の様式でも可））
2. 品質証明員は、当該工事に従事していない社内の者とする。また、原則として品質証明員は検査に立会わなければならない。
3. 品質証明は、契約図書及び関係図書に基づき、出来形、品質及び写真管理はもとより、工事全般にわたり行うものとする。
4. 品質証明員の資格は10年以上の現場経験を有し、技術士もしくは1級土木施工管理技士の資格を有するものとする。ただし、監督職員の承諾を得た場合はこの限りでない。
5. 品質証明員を定めた場合、書面により氏名、資格（資格証書の写しを添付）、経験及び経歴書を監督職員に提出しなければならない。なお、品質証明員を変更した場合も同様とする。（別紙様式2）
6. 品質確認の結果、改修すべきものがあつた場合は速やかに改修し、社内検査合格後、監督職員の確認を得るものとする。

(様式 1)

品質証明書

工事名称

品質証明記事				
品質証明項目	実施日	箇所	品質証明員 氏名 印	記事

社内検査した結果、工事請負契約書、図面、仕様書、その他の関係図書に示された品質を確保していることを確認したので報告します。

請負者 住所
氏名

(様式 2)

品質証明員選任届

監督職員 殿

請負者 住所
氏名

工事名称

工 期 令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで

請負金額

上記工事の品質証明員を下記のとおり定めたので、別紙経歴書を添えて報告します。

記

	氏 名	経験年数	資 格
1			
2			
3			

以上

(様式 3)

工事名称
検査日時
検査員氏名

社内検査記録

検査項目		認定基準	評価	特記事項	
書類に関する事項	施工計画書	施工計画書は適切に活用されているか。			
		施工計画書と実施が異なる場合には適切に処理されているか。			
	工程管理	工程表を作成し、工程をフォローアップしているか。			
	協議書等の整理	協議書、指示書は適切に処理されているか。			
		工程、工法、工期に変更がある場合はどうか。			
	出来形管理	出来形数量計算書及び完成図書は作成されているか。			
		出来形管理表は作成されているか。			
	品質管理	材料検査表、試験成績表、ミルシート等は整理されているか。			
		管理図表は整理されているか。			
		各工種、項目毎に管理基準精度を満足しているか。			
	写真管理	写真撮影内容は目的を満足しているか。			
		電子データ及びアルバムの整理は要領よくなされているか。			
		着工前、しゅん工後の写真はよく撮れているか。			
	安全管理	安全日誌、安全パトロール等の資料は整理されているか。			
		第三者への安全対策は充分になされているか。			
		安全・訓練等の実施。			
	現場に関する事項	出来形	目的物の出来形は設計図書を満足しているか。		
			二次製品は設計図書に示されている規格を満足しているか。		
目的物の仕上がりはどうか。					
隣接する他の工作物との取り合いはどうか。					
後片付け及び現場の清掃		車道部、歩道部、特に目的物周辺の清掃。			
		残材の片付け。			
		隣接する家屋等の補償。			
		仮設工事用道路、現場事務所等の片付け清掃。			
保安関係		保安施設は的確に設置されているか。			
		標識類の設置は適切か。			
		第三者からの苦情処理は適切か。			
		事故の発生状況。			
現場のイメージアップ	施工計画書のとおり実施しているか。(経費計上の場合)				
評価記号の判定		A : 90 点以上 B : 75～89 点 C : 60～74 点 D : 59 点以下 A、B は合格 C 以下は正			
(記事)					

土工

1. 設計図書に特別な定めがある場合を除き、掘削の範囲や施工方法については請負者の定めるところによるものとする。
2. 設計図書に特別な定めがある場合を除き、埋め戻しに使用する土砂は、改良土とし、建設副産物の再利用に寄与するものとする。但し、発生土が良質で埋戻し材として使用できると判断した場合は監督職員の承諾を得て使用できる。この場合、設計変更の対象となる。
3. 現場の状況により、再生砂を埋め戻し材として使用する場合は、1 購入先あたり 1 検体の試験を行うものとする。六価クロムについて、平成3年8月23日付け環境庁告示第46号に規定される測定法に基づき、あらかじめ土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。（「土壌の汚染に係る環境基準について」参照）
4. 排水施設工事（本管、取付管、マンホール等）の埋戻しは、構造物に影響が出ないように配慮し、図面等で別に定める場合を除き、1 層の巻き出し厚は以下の通りとする。

松戸市道	一層30cm以内での転圧
千葉県管理道路	一層15cm以内での転圧
その他公道	管理者の基準に従うこと。
5. 掘削において、高さが規定されている場合は、余掘り等出来るだけ地山を乱さないように施工すること。また、掘削面が軟弱な場合は砂等で置換するなど検討すること。
6. 国道や県道、河川占用を伴う施工箇所がある場合において、その施工方法については管理者の許可条件に従わなければならない。
7. 改良土による埋戻しにあたっては、「埋戻しの施工管理基準」に従い管理しなければならない。
8. 立坑と人孔の間の埋戻し等、転圧が不十分となってしまう恐れがある場合は流動化処理土を使用すること。

マンホール工

1. マンホールの設置位置について、設計図書に示された事項をもとに、埋設物、道路交通、住民の生活、接続管きよの流入流出方向に注意し、施工はもちろん管理面についても配慮して決定しなければならない。なお、位置決定に際し、監督職員の確認を得なければならない。
2. マンホール天端の仕上がり高さ及び勾配は、道路または敷地の表面勾配に合致するよう仕上げなければならない。
3. マンホールふたの高さの調整にあたっては、調整リング、調整金具等で行い、調整部のモルタルは、無収縮モルタルにより十分充填すること。また、目地の破損が生じないように施工すること。
4. 組立マンホールを使用する場合は、箇所別に部材の割付を施工計画し、流入管（将来管を含む）が目地から 15 cm 以上離隔をとるようにしなければならない。
5. 鉄ぶたについては、全て蝶番式の仕様とする。
6. マンホール内空高（マンホール芯の地盤高から、当該人孔最下流底高の差）が 2m 以上については、転落防止用はしごを設置すること。
7. インバートの横断勾配は、10%とする。
8. 人孔の割付（中間スラブ、ステップ等の位置も含む）の計画を明確に作成し、材料承認で、監督職員に了承を得なければならない。
9. 管きよと人孔の接続には短管を使用すること。接続部については接合剤、モルタル等を使用し止水性を確保すること。

開削工

1-1 工程

開削工は日々復旧し交通開放後、通行に支障の無いようにしなければならない。路面表示等がある場合は、仮設の措置を必ず講ずること。

1-2 仮設

1. 土留工に関し、図面等の設計図書に記載のない事項については、施工者において、設計意図を踏まえ検討し、施工計画するものとする。但し、下記に示す事項は遵守するものとする。

支保工	$H \leq 2.0\text{m}$	1 段	
	$2.0\text{m} < H \leq 3.5\text{m}$	2 段	
	$3.5\text{m} < H$	3 段	H : 掘削深

建込工法の根入れ長は 20cm 以上とる。

圧入工法の根入れ長は 50cm 以上とる。

2. 打ち込み矢板は、土べら落としを十分に行い、また引き抜きにおいては、1 枚おきや千鳥に抜くなど構造物に影響しないように施工すること。なお、施工が原因で目的物の品質低下が確認された場合は改善を求めることがある。
3. 図面上に記した仮設標記は、指定ではなく積算上の標記である。管布設を行うにあたり、安全や出来型、品質を確保するための仮設を請負者で検討し、施工計画に明示すること。

舗装復旧工

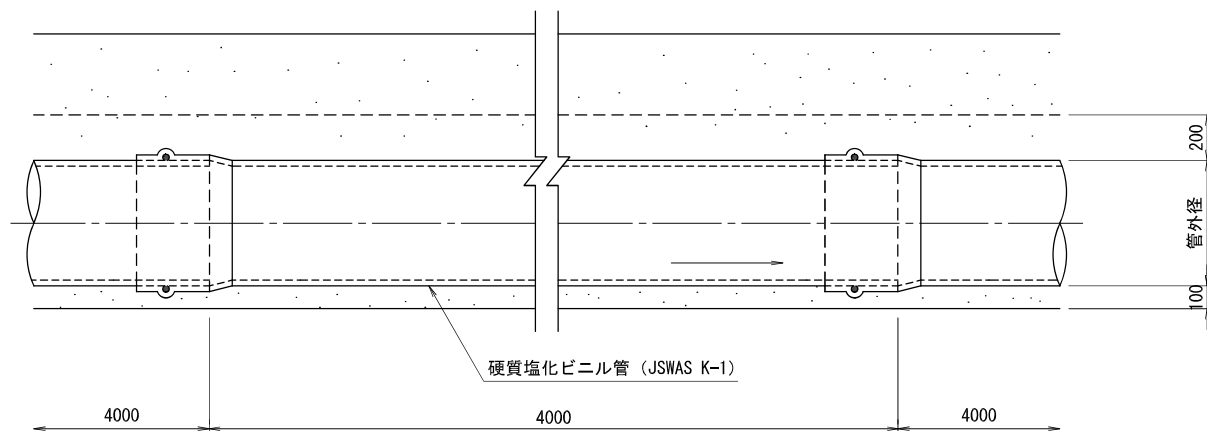
1. 舗装構成は図面によるが、路盤については骨材の最大粒径の 2 倍を最小限度として複層転圧し密度を高めること。最大限度は以下の通りである。

松戸市道	上層路盤は 15cm 以下、下層路盤は 20cm 以下
千葉県管理道路	上層路盤、下層路盤共 10cm 以下
その他公道	管理者の基準に従うこと。

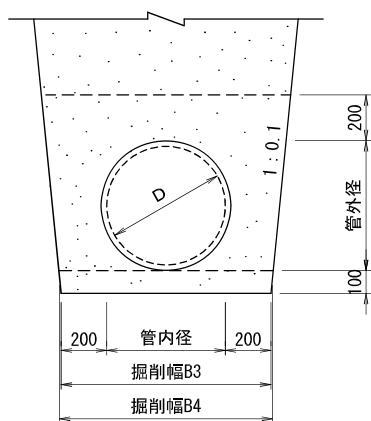
これによらない場合は密度試験を行い品質の証明をすること。

2. 本工事の路線は、全て管布設完了後、基準範囲の復旧仕上げとする。この際、即日にて舗設を行うこととする。また、舗装本復旧時にやむを得ず路盤にて開放する時は、監督職員と協議すること。ただし、休日の路盤開放は避けること。
3. 復旧は、解放後段差や凹凸など通行に危険のない様に行わなければならない。瑕疵による場合は引渡し後であっても改善を求めることがある。

縦断図



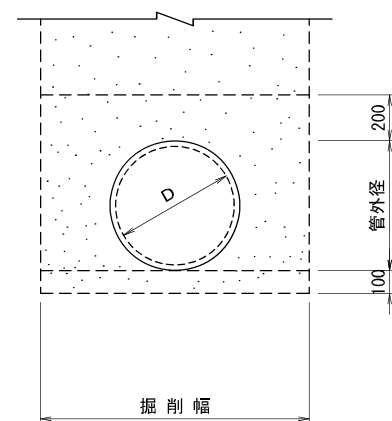
断面図(素掘り工法)



寸法表

呼び径 (D)	(mm)	
	掘削幅 B3	掘削幅 B4
150	550	750
200	600	620
250	650	670
300	700	720
350	750	770

断面図(土留め工法)



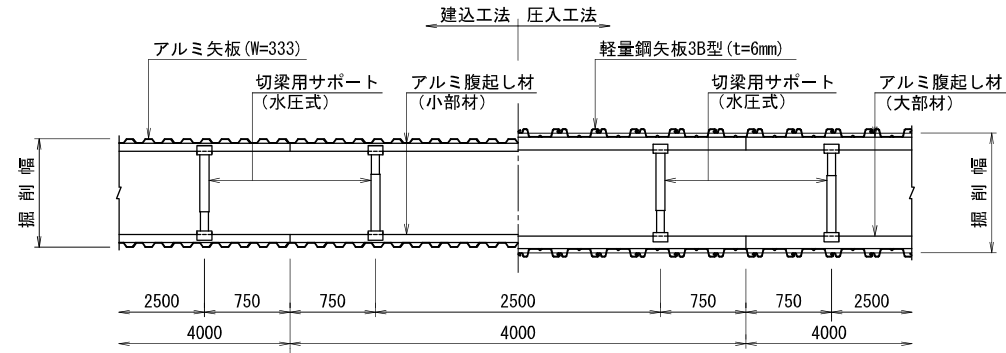
寸法表

呼び径 (D)	(mm)
管外径	
150	165
200	216
250	267
300	318
350	370

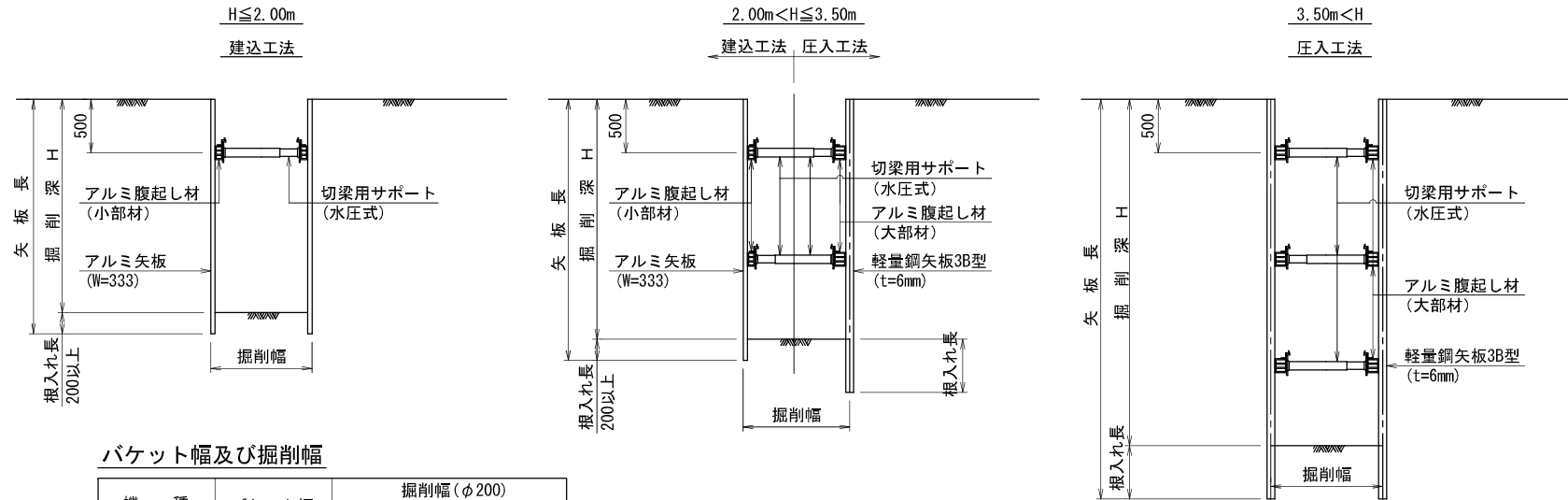
※管上に地下水がある場合の埋戻し材は、再生砂とする。

図面	硬質塩化ビニル管基礎標準図	
縮尺	—	図番 1
松戸市 建設部		

平面図



断面図



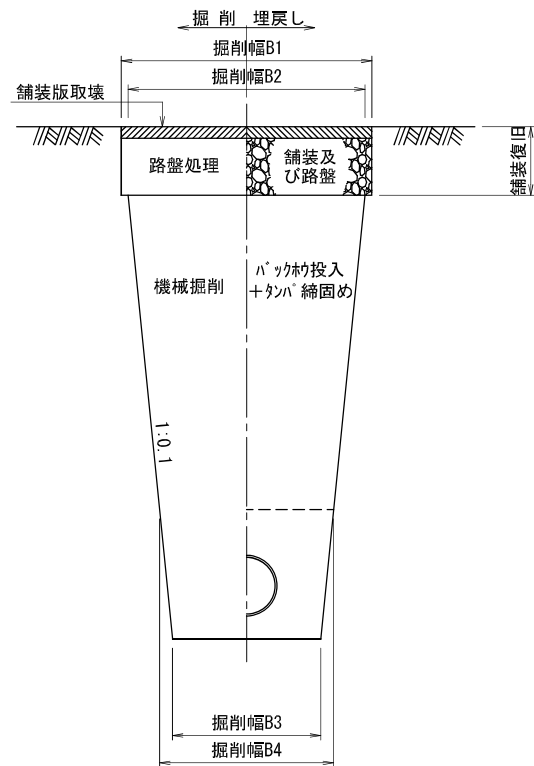
バケット幅及び掘削幅

機種	バケット幅	掘削幅 (φ200)	
		建込工法 (7M)	圧入工法 (軽量)
0.13m3級	0.45m	0.95m	0.95m
0.28m3級	0.60m	0.95m	1.05m
0.45m3級	0.75m	1.10m	1.20m

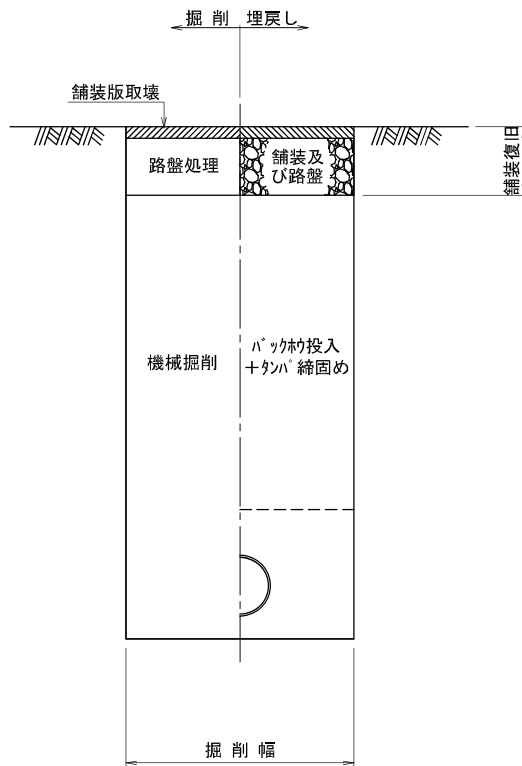
※ 矢板長は、縦断面図参照

図面	土留工標準図	
縮尺	—	図番 6
松戸市 建設部		

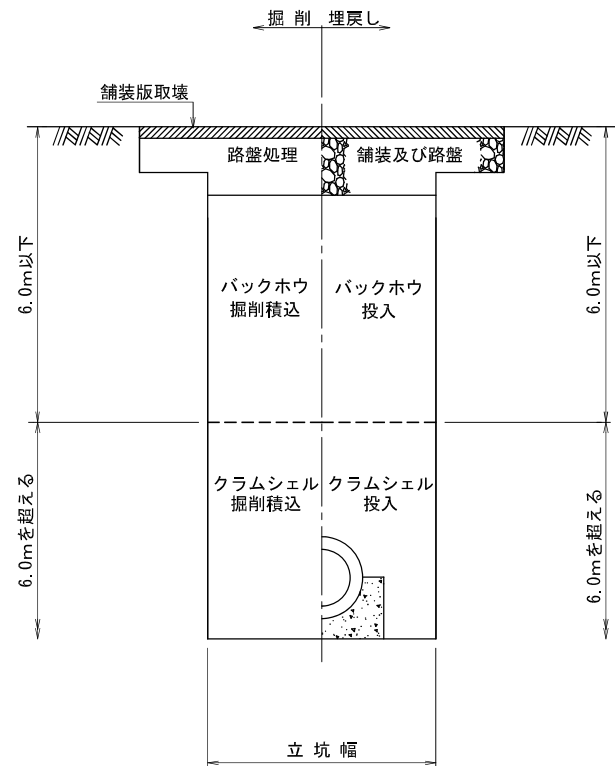
開削部(素掘り工法)



開削部(土留め工法)

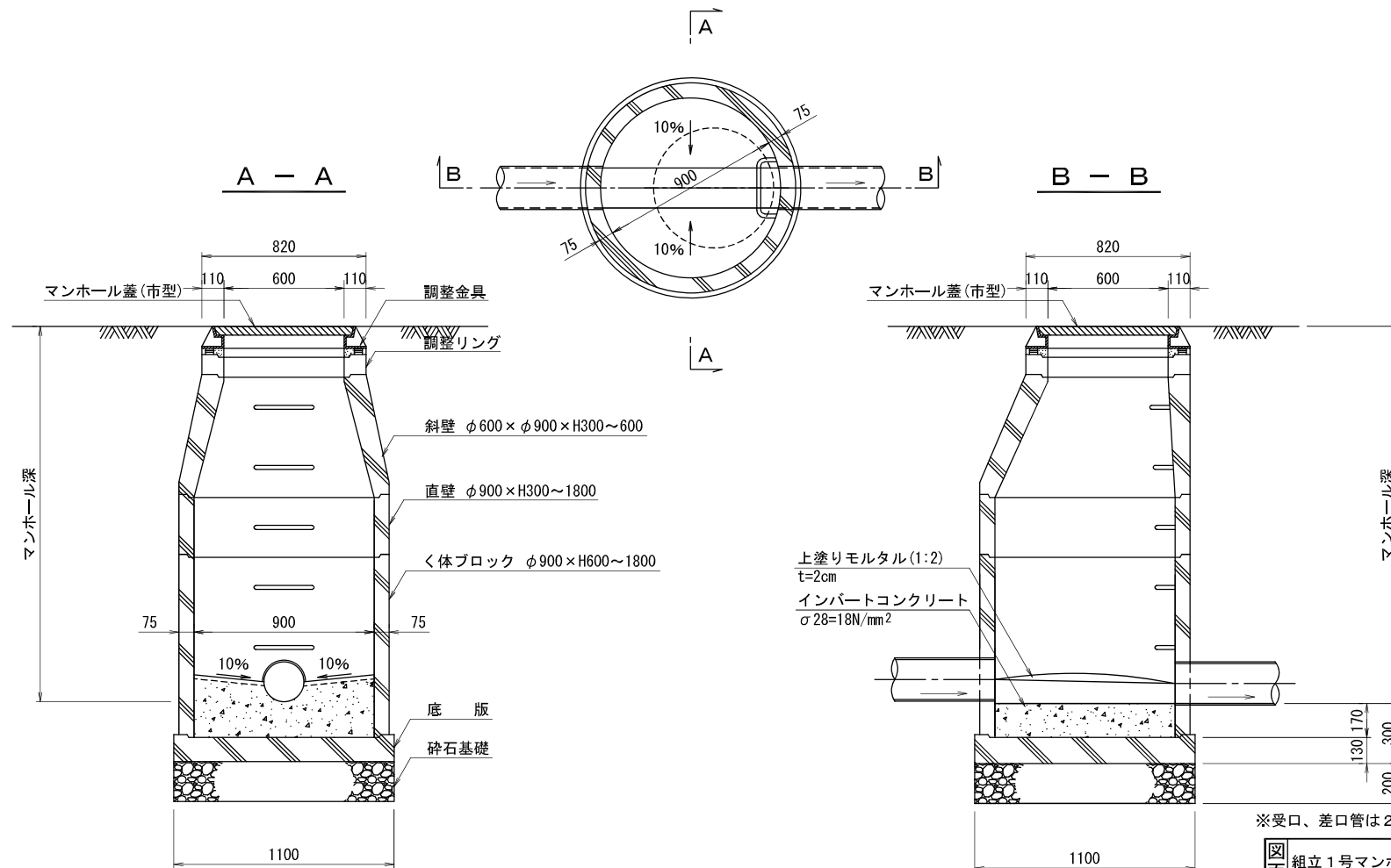


立坑部



図面	土工図	
縮尺	—	図番 7
松戸市 建設部		

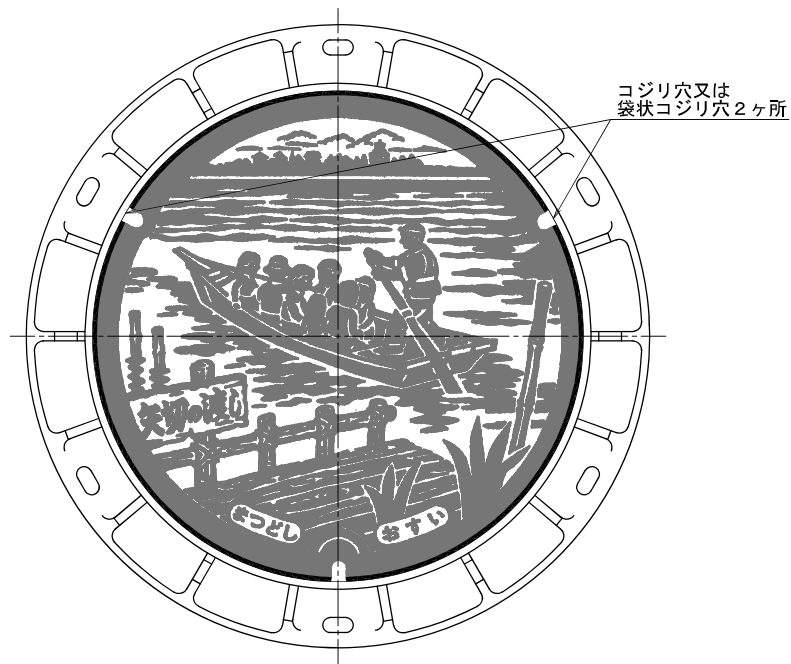
平面図



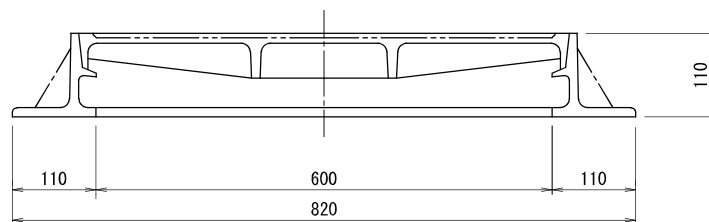
※受口、差口管は2m未満の管を使用する

図面	組立1号マンホール(内径900)標準図		
縮尺	1:20	図番	16
松戸市 建設部			

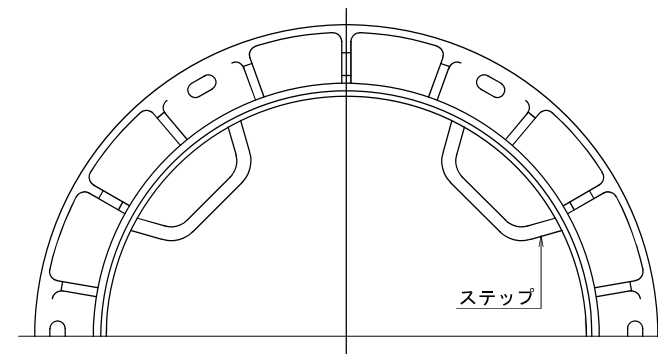
紋章平面図



断面図



ステップ取付図（参考）



（特記事項）

1. ふたと枠は蝶番で連結した構造とする。
2. 浮上防止機能及びロック機能付きとする。
3. 受け枠にはステップが付いたものとし、将来転落防止機能等を装備できる構造とする。
4. マンホール深が2m以上には、転落防止用梯子を設けるものとする。

ロック付転落防止用梯子図（参考）

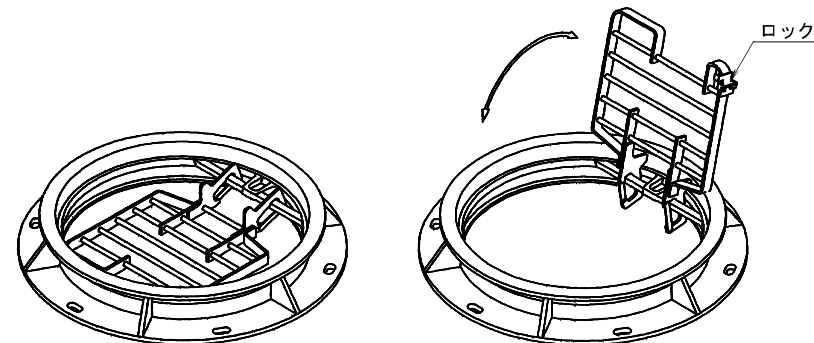
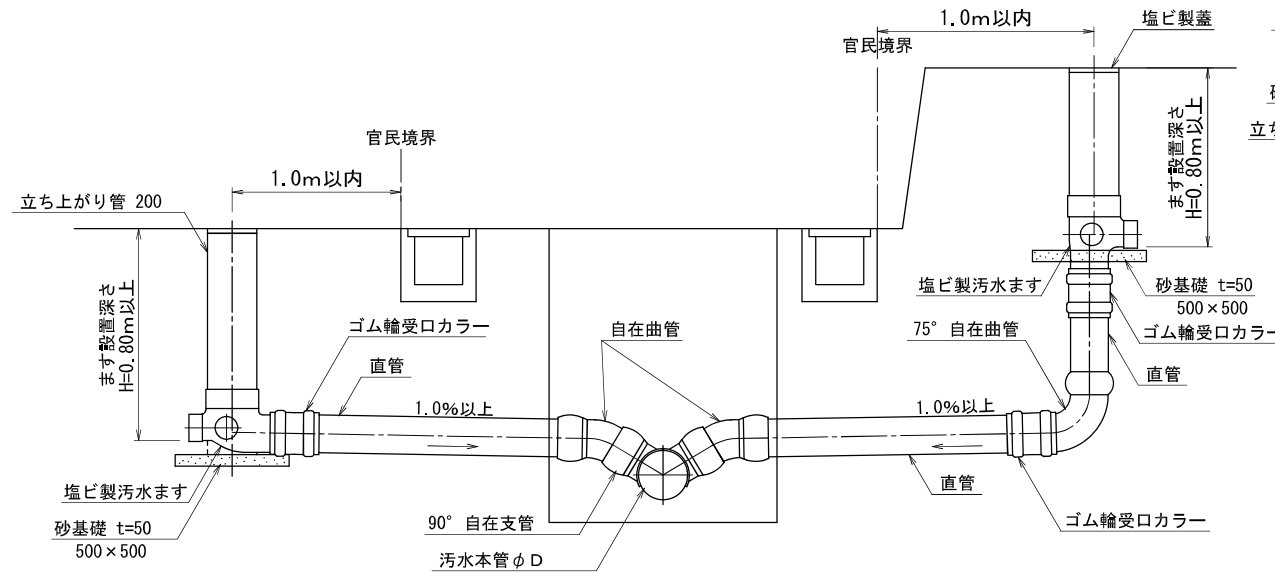
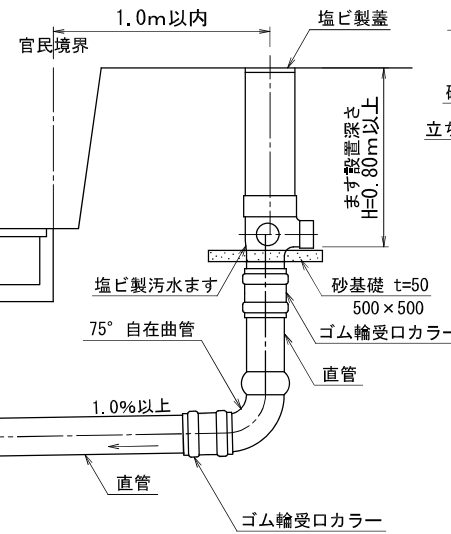


図 面 縮 尺	マンホール鉄蓋詳細図		
	1 : 6	図 番	19
	松戸市 建設部		

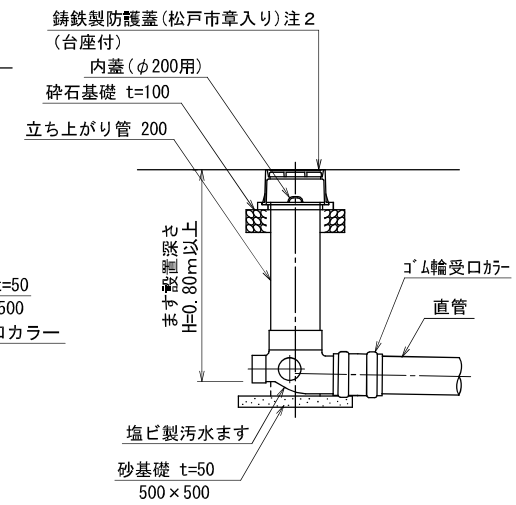
Aタイプ



Bタイプ

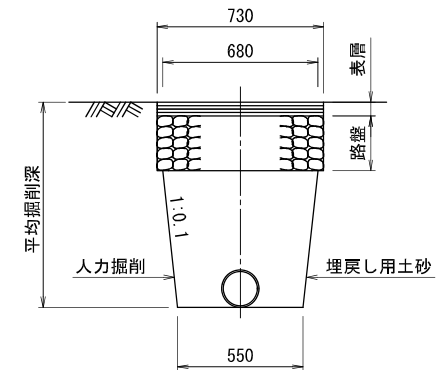


私道部(防護蓋)



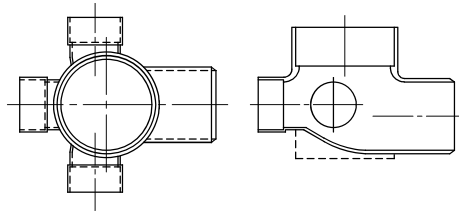
A-A

(取付管布設標準図)



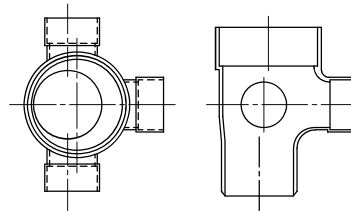
小型取付ます

Aタイプ



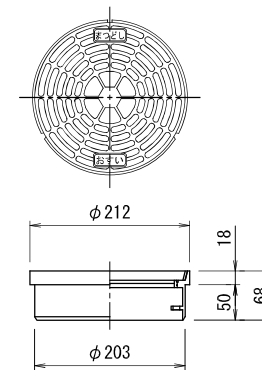
小型取付ます

Bタイプ



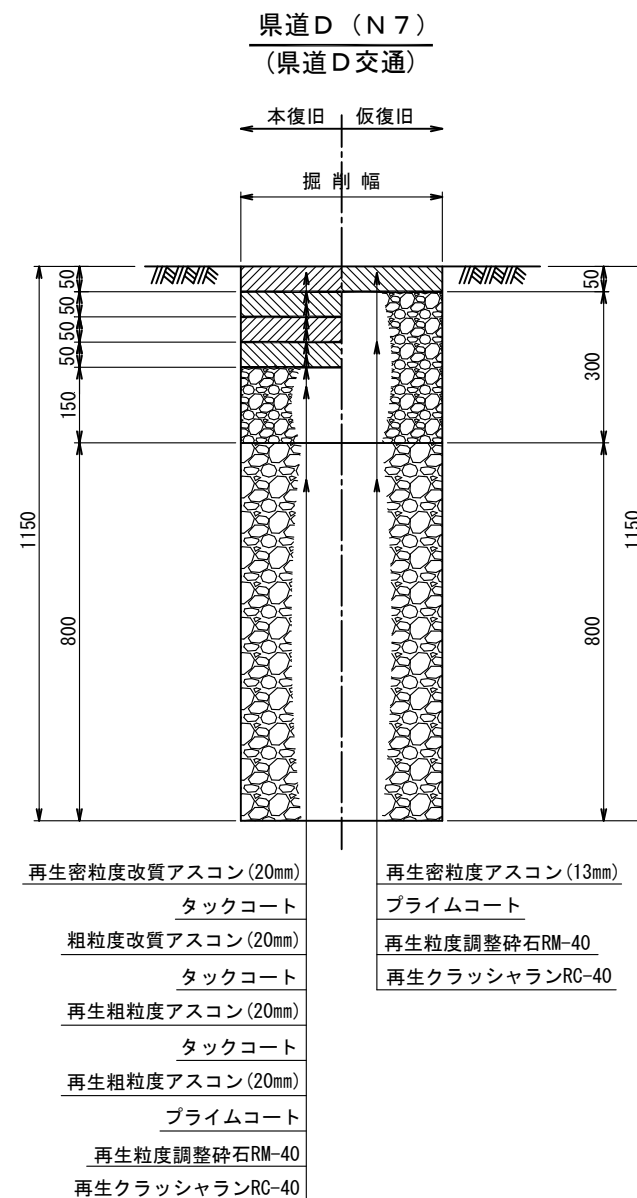
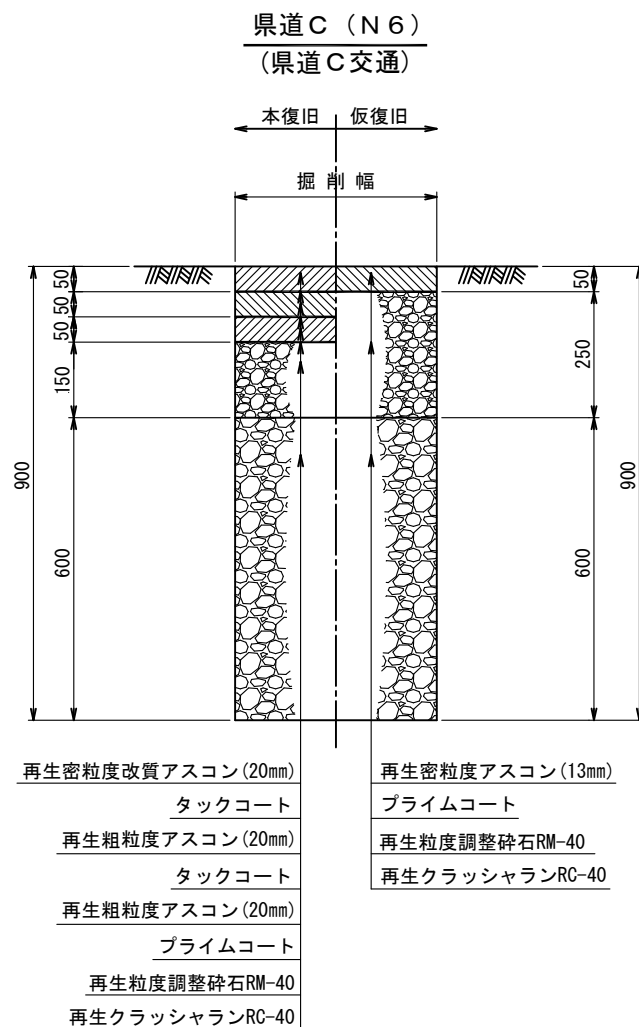
塩ビ製蓋紋章

(差し口形 ワンタッチ蓋)



- 注1) 宅内用ます流入径は、φ100mm、私道用ます流入径は、φ150mmとする。
 注2) 私道部については、铸铁製防護蓋T-8以上(クサリ付)とし、通行量の多い場所や、大型車の通行が見込まれる場所等は、別途協議すること。
 注3) 松戸市章入りについては、「まつどし・おすい」と明記すること。
 注4) 共同住宅等の場合は、流入管径を協議上決定すること。

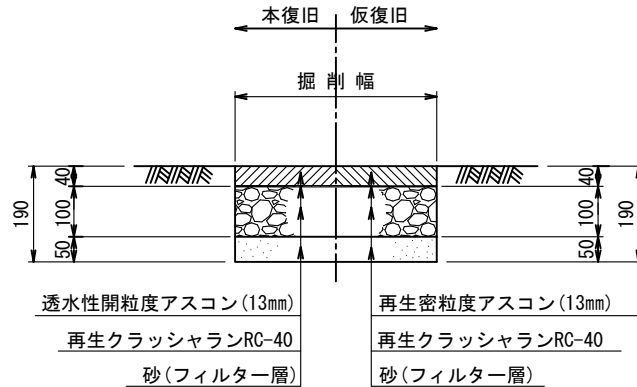
図面	塩ビ製汚水ます・取付管布設標準図(1)		
縮尺	1:20	図番	24
松戸市 建設部			



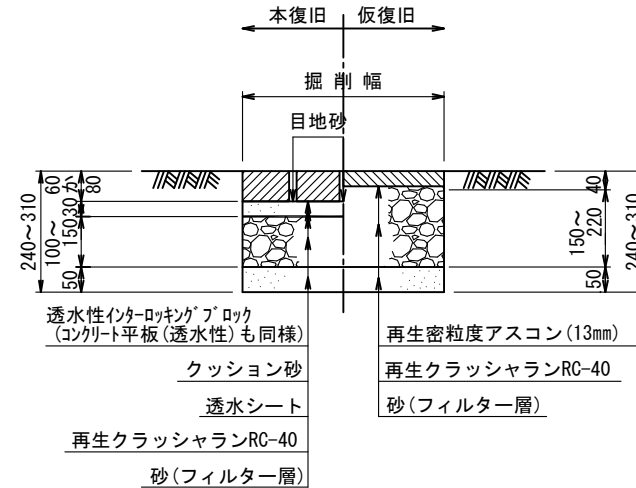
- ・ 復旧の方法については、道路管理者との協議により決定する。
- ・ 工事路線の舗装構成については、道路管理者に確認すること。
- ・ 路盤は1層15cmごとに転圧すること。

図面 縮尺	県道舗装復旧図 (1)	
	——	図番 27
松戸市 建設部		

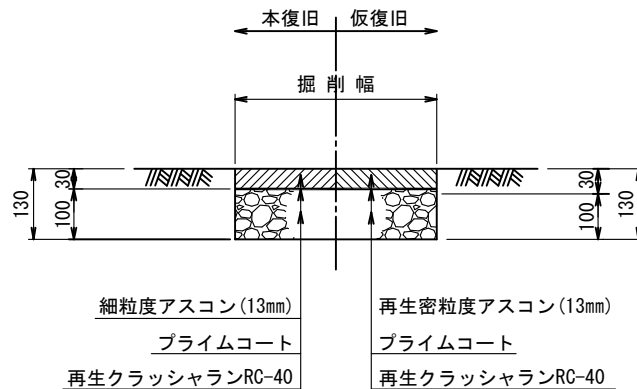
(1) アスファルトコンクリート舗装（透水性）



(2) インターロッキングブロック舗装もしくはコンクリート平板舗装



(3) 透水性舗装以外のアスファルトコンクリート舗装

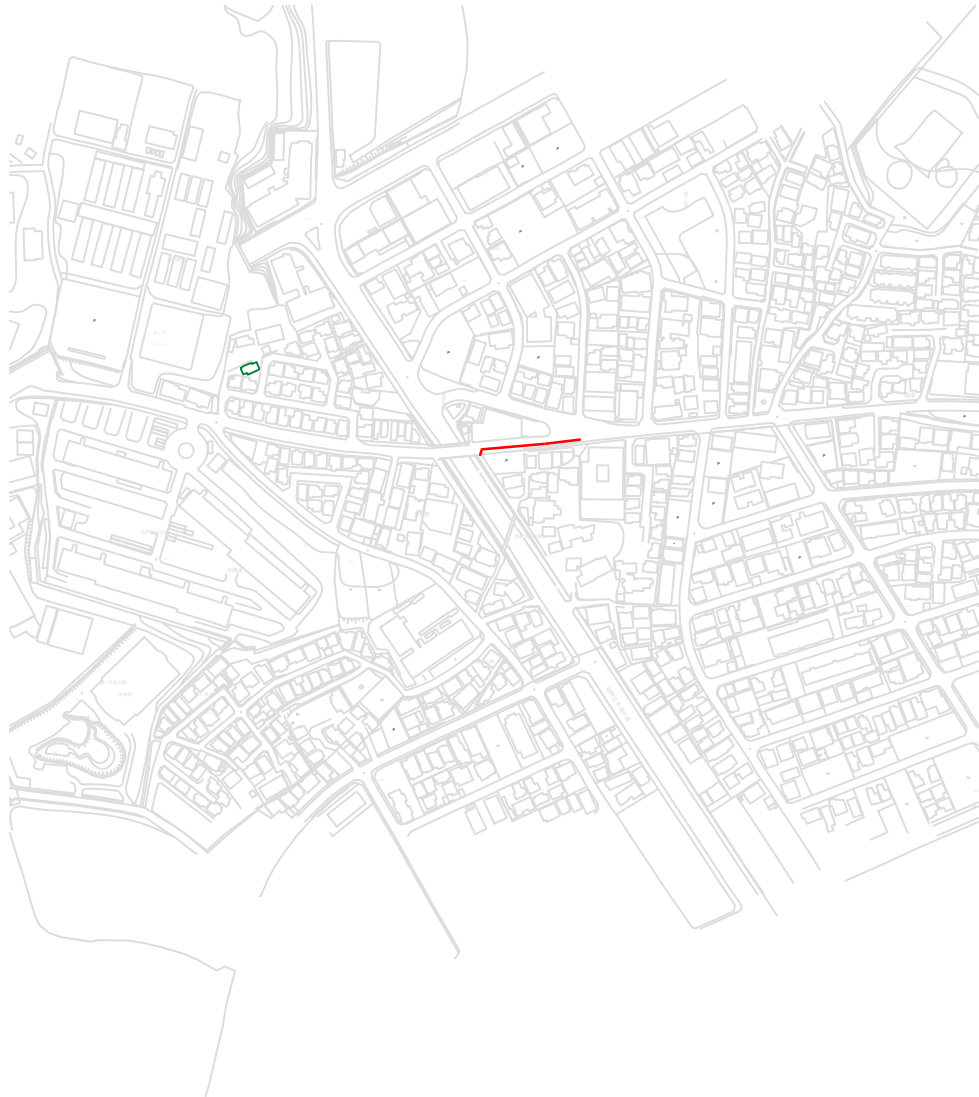


- (注) 1 歩道復旧は、原形復旧を原則とするが、舗装構成や復旧範囲については道路管理者の指示によること。
- 2 車両出入口部や特殊な場合(軟弱地盤)の舗装構造については、道路管理者の指示によること。
- 3 透水性舗装を施工する際に、路盤上のプライムコート、表層と基層の間のタックコートは、雨水の浸透を阻害するので設けないこと。

図面	県道舗装復旧図(2)	
縮尺	——	図番 28
松戸市 建設部		

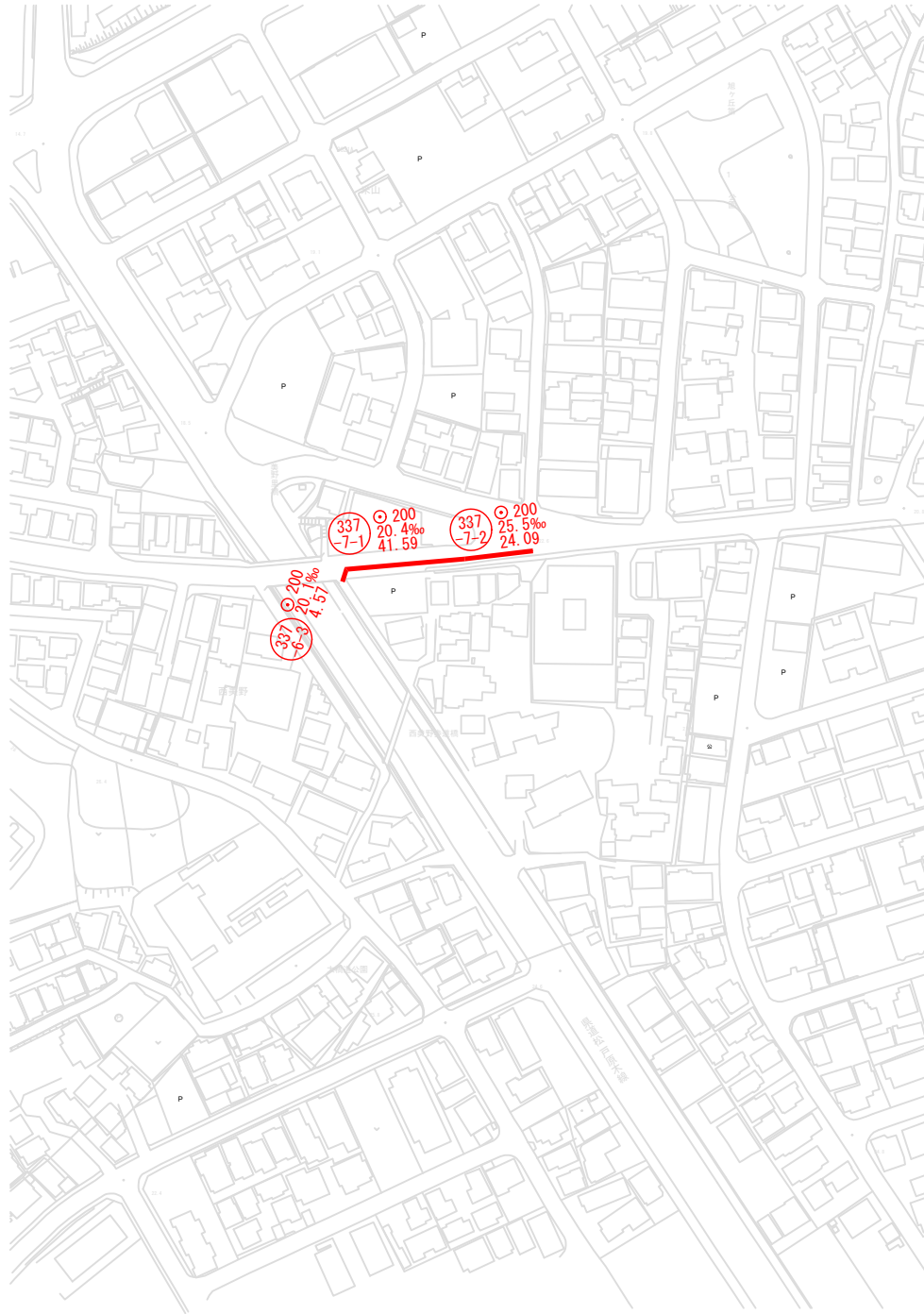
位置図 S=1:5000

松戸市
松戸



系統図 S=1:2500

松戸市
松戸

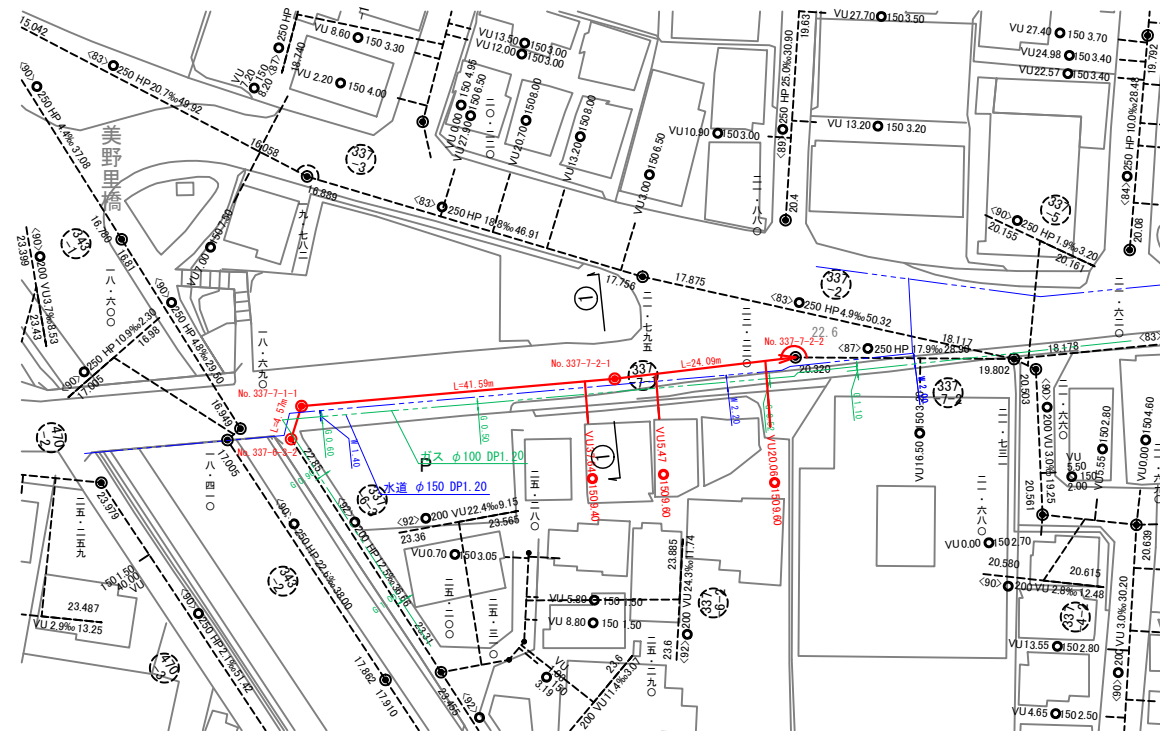


工事の概要

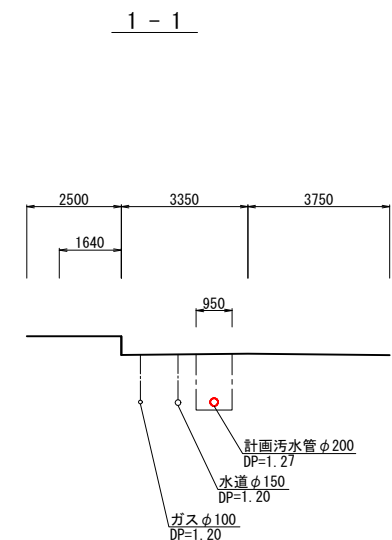
・路線延長	70.25 m
・内径200mm管布設工(開削工)	70.25 m
・既設内径200mm管撤去工(開削工)	26.84 m
・既設内径250mm管撤去工(開削工)	46.14 m
・組立1号マンホール設置工	3 基
・既設組立1号マンホール撤去工	3 基
・取付管布設替工	3 箇所
・附帯工	1 式

令和 8 年度	
工 事 名	松戸第4処理分区汚水枝線布設替工事 (R8-1工区)
路線番号	(337/6-3) (337/7-1) (337/8-2)
工事箇所	松戸市 松戸 地先
図面種別	位置図・系統図
縮 尺	図 示
図面番号	全 4 葉ノ内第 1 号
松戸市建設部下水道整備課	

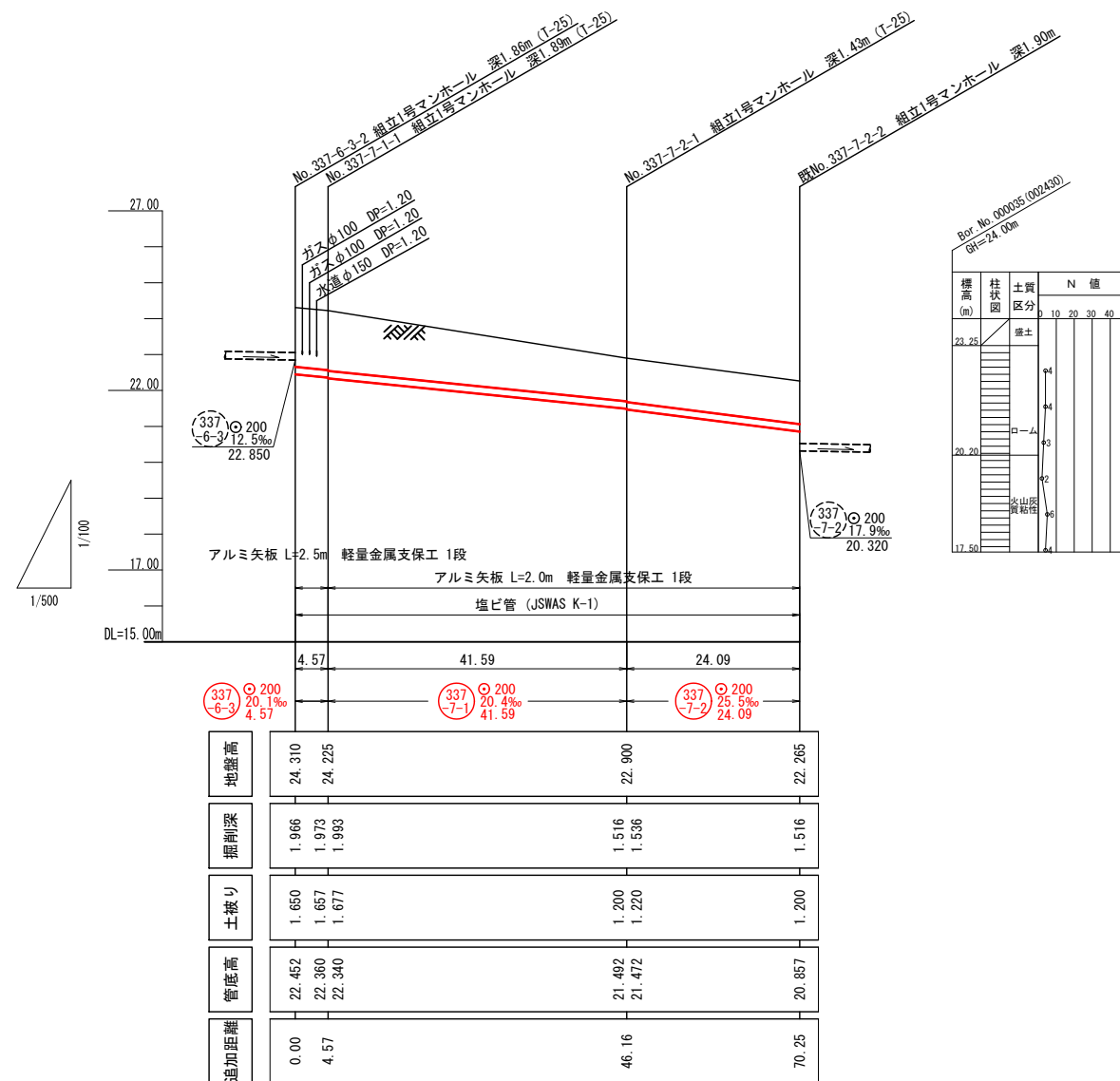
平面図 縮尺 1:500



横断面図 縮尺 1:100



縦断面図 縮尺 縦 1:100 横 1:500



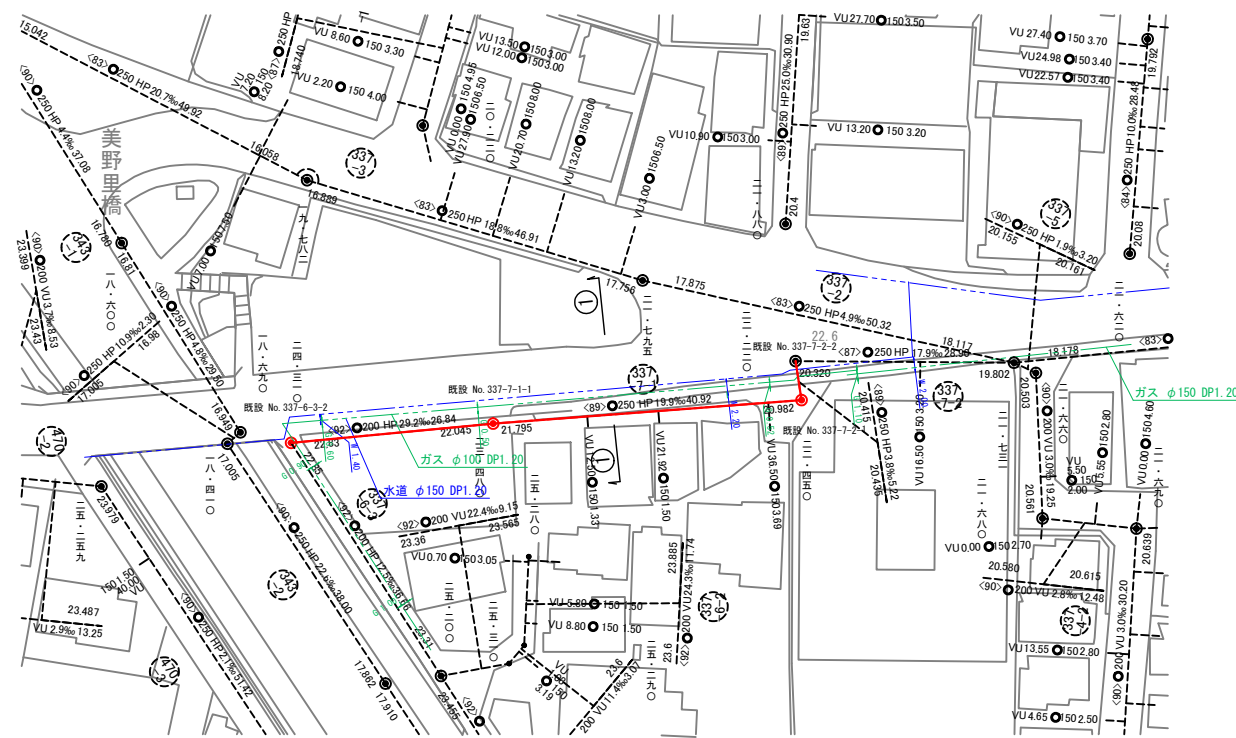
案内図 s=1:5,000



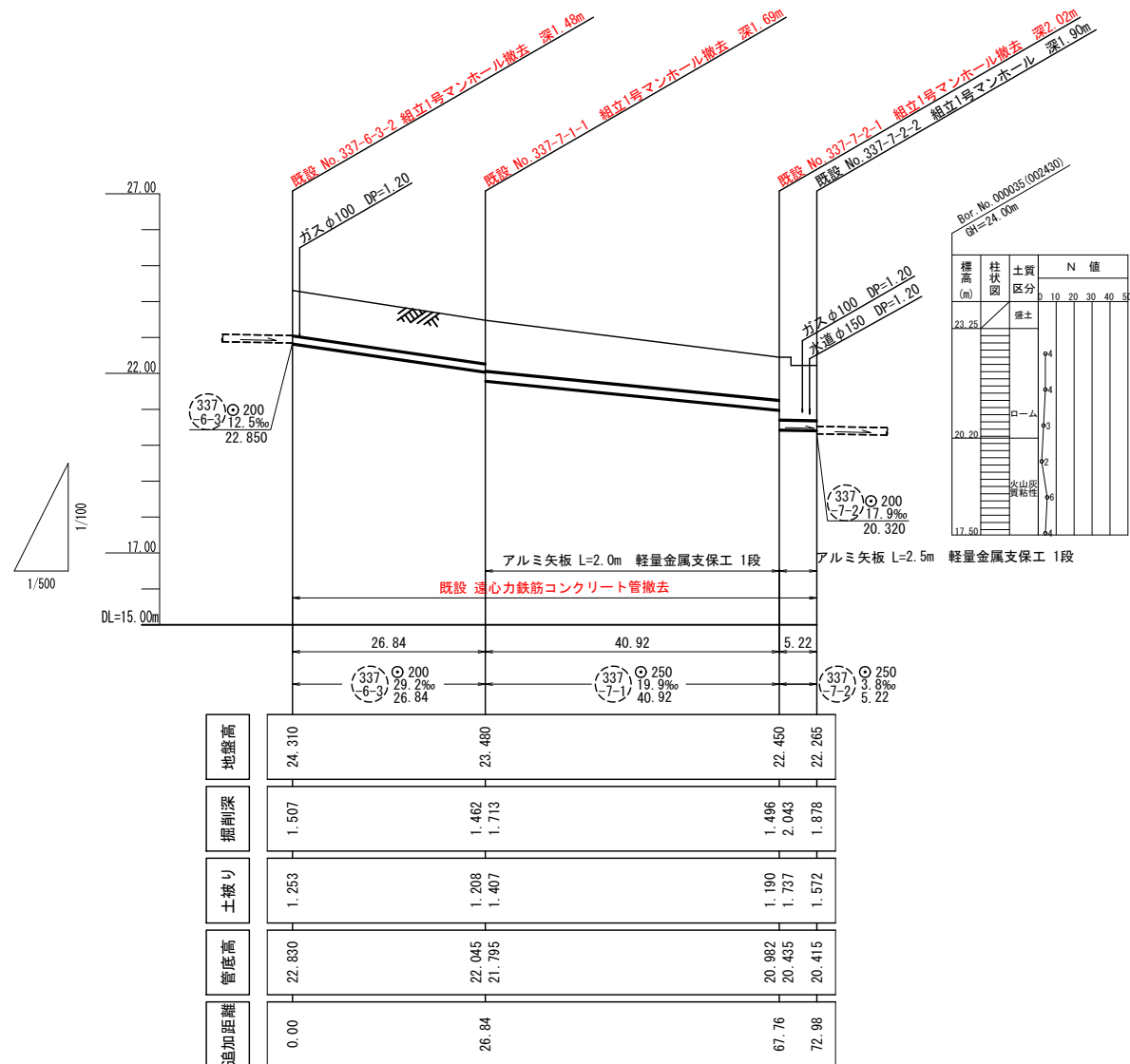
令和 8 年度	
工事名	松戸第4処理分区分区汚水枝線布設替工事 (R8-1工区)
路線番号	(337-6-3) (337-7-1) (337-7-2)
工事箇所	松戸市 松戸 地先
図面種別	平面図・縦断面図・横断面図
縮尺	図 示
図面番号	全 4 葉ノ内第 2 号
松戸市建設部下水道整備課	

既設管撤去図

平面図 縮尺 1:500

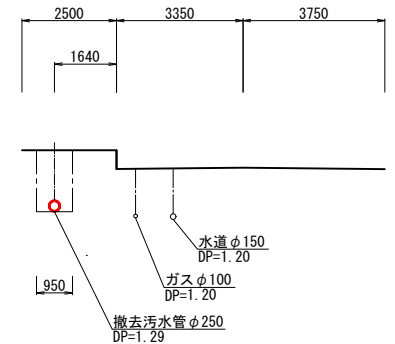


縦断面図 縮尺 縦 1:100 横 1:500

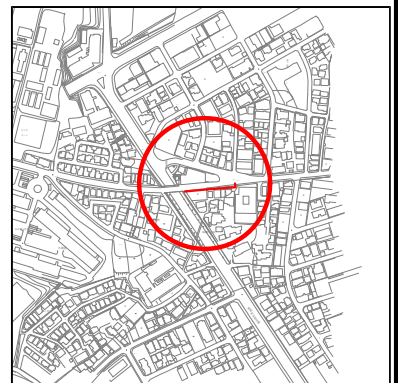


横断面図 縮尺 1:100

1 - 1

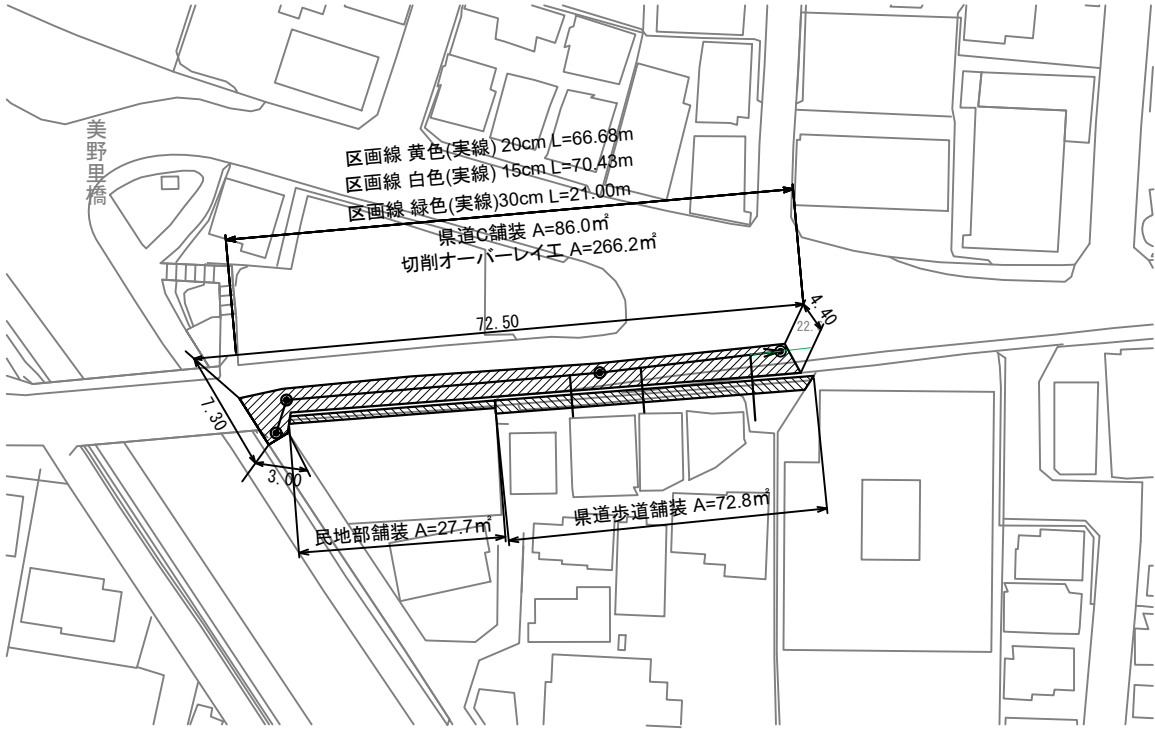


案内図 s=1:5,000



令和 8 年度	
工事名	松戸第4処理分区分区汚水枝線布設替工事 (R8-1工区)
路線番号	337-6-3-2 337-7-1-1 337-7-2-2
工事箇所	松戸市 松戸 地先
図面種別	既設管撤去図
縮尺	図示
図面番号	全 4 葉ノ内第 3 号
松戸市建設部下水道整備課	

附 帯 工 平 面 図 (参考図) 縮尺 1:500



復旧面積		
県道C舗装	266.20	= 266.20㎡

舗装切断長		
県道C舗装	3.00 + 7.30 + 72.50 +	
	4.40	= 87.20m

区画線工 実線 (黄 W=20cm)	
66.70	= 66.70m

区画線工 実線 (白 W=15cm)	
70.40	= 70.40m

凡 例

	舗装復旧 県道C舗装
	舗装復旧 県道歩道舗装 民地部舗装

本 復 旧 (県道C) (切削オーバーレイ)

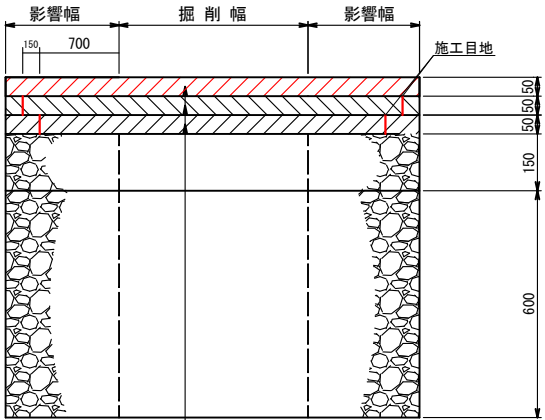


表 層 再生密粒度改質アスコン (20mm)
タックコート (PK-4)

仮 復 旧 (県道C)

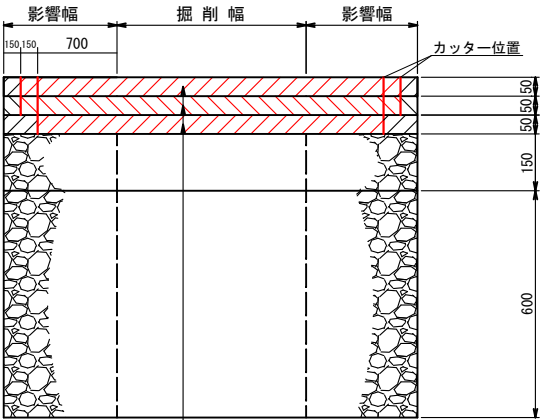


表 層 再生密粒度 (13mm)
タックコート (PK-4)
中間層 再生粗粒度 (20mm)
タックコート (PK-4)
基 層 再生粗粒度 (20mm)
プライムコート (PK-3)

仮 仮 復 旧 (県道C)

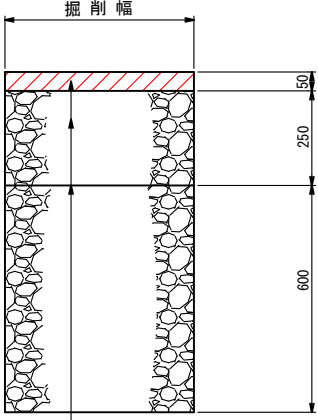
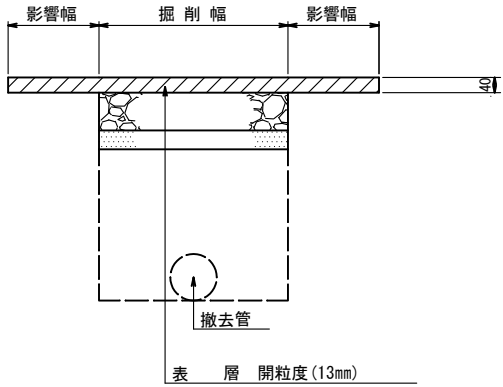
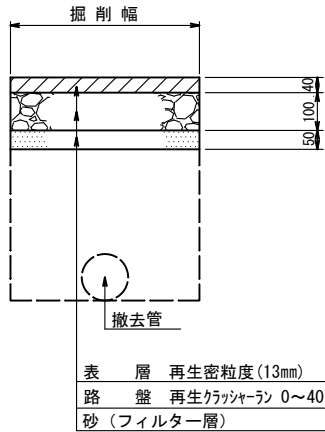


表 層 再生密粒度 (13mm)
プライムコート (PK-3)
上層路盤 再生粒調砕石 0~40
下層路盤 再生クラッシャーラン 0~40

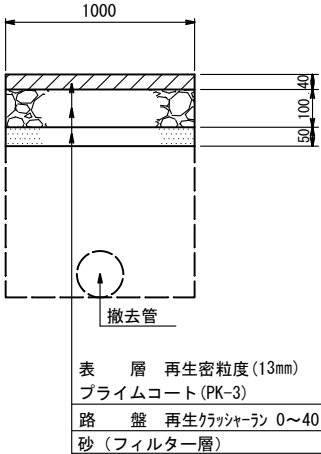
本 復 旧 (県道歩道)



仮 復 旧 (県道歩道)



本 復 旧 (民地部)



案 内 図 S=1:5,000



令和 8 年度	
工 事 名	松戸第4処理分区汚水枝線布設替工事 (R8-1工区)
路線番号	(327) (327) (327)
工事箇所	松戸市 松戸 地先
図面種別	附帯工平面図 (参考図)
縮 尺	図 示
図面番号	全 4 葉ノ内第 4 号
松戸市建設部下水道整備課	